コンピューターの準備

HP ノートブック コンピューター

改訂第 1 版：2011 年 7 月

初版：2011 年 3 月

製品番号：644178-292

製品についての注意事項

このガイドでは、ほとんどのモデルに共通の機能について説明します。一部の機能は、お使いのコンピューターでは使用できない場合があります。

ソフトウェア条項

このコンピューターにプリインストールされている任意のソフトウェア製品をインストール、複製、ダウンロード、またはその他の方法で使用することによって、お客様は HP EULA の条件に従うことに同意したものとみなされます。これらのライセンス条件に同意されない場合、未使用の完全な製品（付属品を含むハードウェアおよびソフトウェア）を 14 日以内に返品し、購入店の返金方針に従って返金を受けてください。

より詳しい情報が必要な場合またはコンピューターの返金を要求する場合は、お近くの販売店にお問い合わせください。

安全に関するご注意

警告！ ユーザーが火傷をしたり、コンピューターが過熱状態になったりするおそれがありますので、ひざの上に直接コンピューターを置いて使用したり、コンピューターの通気孔をふさいだりしないでください。コンピューターは、机のようなしっかりとした水平なところに設置してください。通気を妨げるおそれがありますので、隣にプリンターなどの表面の硬いものを設置したり、枕や毛布、または衣類などの表面が柔らかいものを敷いたりしないでください。また、AC アダプターを肌に触れる位置に置いたり、枕や毛布、または衣類などの表面が柔らかいものの上に置いたりしないでください。お使いのコンピューターおよび AC アダプターは、International Standard for Safety of Information Technology Equipment（IEC 60950）で定められた、ユーザーが触れる表面の温度に関する規格に準拠しています。

目次

1　ようこそ

- 情報の確認

コンピューターをセットアップして登録した後に、以下の作業を実行することが重要です。

- **インターネットへの接続**：インターネットに接続できるように、有線ネットワークまたは無線ネットワークをセットアップします。詳しくは、21 ページの「ネットワーク」を参照してください。
- **ウィルス対策ソフトウェアの更新**：ウィルスによる被害からコンピューターを保護します。コンピューターにはウィルス対策ソフトウェアがプリインストールされており、期間限定の無料更新サービスが含まれています。詳しくは、『HP ノートブック コンピューター リファレンス ガイド』を参照してください。このガイドを表示する手順については、2 ページの「情報の確認」を参照してください。
- **コンピューター本体の確認**：お使いのコンピューターの各部や特徴を確認します。詳しくは、4 ページの「コンピューターの概要」および27 ページの「キーボードおよびポインティング デバイス」を参照してください。
- **インストールされているソフトウェアの確認**：コンピューターにプリインストールされているソフトウェアの一覧を表示します。[**スタート**]→[**すべてのプログラム**]の順に選択します。コンピューターに付属しているソフトウェアの使用について詳しくは、ソフトウェアの製造元の説明書を参照してください。これらの説明書は、ソフトウェアに含まれている場合やソフトウェアの製造元の Web サイトで提供されている場合があります。

情報の確認

コンピューターには、各種タスクの実行に役立つ複数のリソースが用意されています。

リソース	提供される情報
『クイック セットアップ』ポスター（印刷物）	● コンピューターのセットアップ方法 ● コンピューター各部の名称
『コンピューターの準備』 このガイドを表示するには、以下の操作を行います **[スタート]**→**[ヘルプとサポート]**→**[ユーザー ガイド]**の順に選択します または **[スタート]**→**[すべてのプログラム]**→**[HP]**→**[HP ドキュメント]**の順に選択します	● コンピューターの機能 ● 無線ネットワークへの接続方法 ● キーボードおよびポインティング デバイスの使用方法 ● ハードドライブおよびメモリ モジュールの交換またはアップグレード方法 ● バックアップおよび復元の実行方法 ● サポート窓口へのお問い合わせ方法 ● コンピューターの仕様
『HP ノートブック コンピューター リファレンス ガイド』 このガイドを表示するには、以下の操作を行います **[スタート]**→**[ヘルプとサポート]**→**[ユーザー ガイド]**の順に選択します または **[スタート]**→**[すべてのプログラム]**→**[HP]**→**[HP ドキュメント]**の順に選択します	● 電源の管理機能 ● バッテリ寿命を最大限に延ばす方法 ● コンピューターのマルチメディア機能の使用方法 ● コンピューターを保護する方法 ● コンピューターを手入れする方法 ● ソフトウェアを更新する方法
ヘルプとサポート [ヘルプとサポート]にアクセスするには、**[スタート]**→**[ヘルプとサポート]**の順に選択します **注記：** お住まいの国または地域のサポート情報については、http://www.hp.com/support/でお住まいの国または地域を選択して、画面の説明に沿って操作してください	● オペレーティング システムの情報 ● ソフトウェア、ドライバー、および BIOS のアップデート ● トラブルシューティング ツール ● テクニカル サポートにアクセスする方法
『規定、安全、および環境に関するご注意』 このガイドを表示するには、以下の操作を行います **[スタート]**→**[ヘルプとサポート]**→**[ユーザー ガイド]**の順に選択します または **[スタート]**→**[すべてのプログラム]**→**[HP]**→**[HP ドキュメント]**の順に選択します	● 規定および安全に関する情報 ● バッテリの処分に関する情報

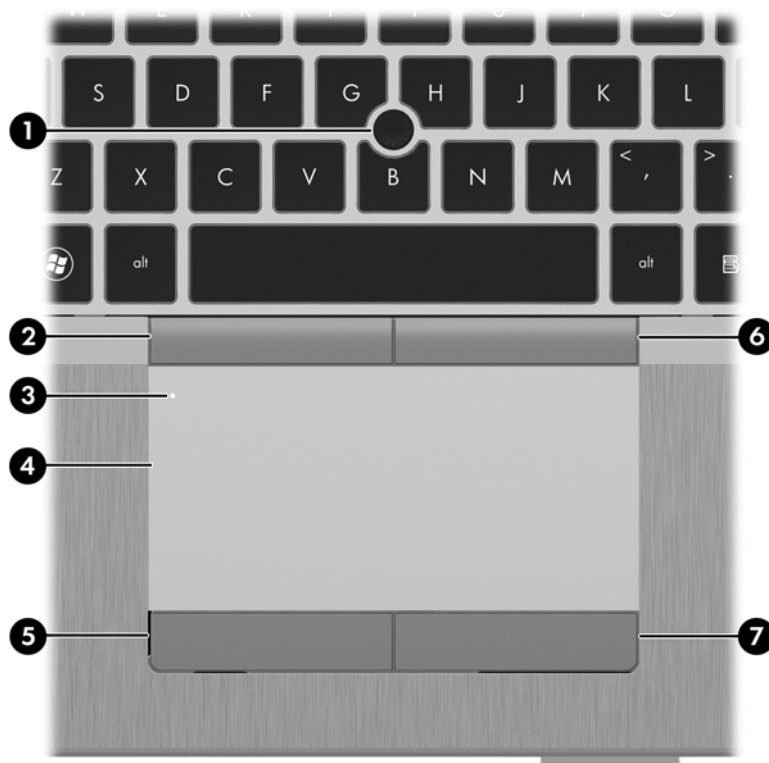
リソース	提供される情報
『快適に使用していただくために』 このガイドを表示するには、以下の操作を行います **[スタート]**→**[ヘルプとサポート]**→**[ユーザー ガイド]**の順に選択します または **[スタート]**→**[すべてのプログラム]**→**[HP]**→**[HP ドキュメント]**の順に選択します または http://www.hp.com/ergo/から[日本語]を選択します	● 正しい作業環境の整え方、作業をする際の正しい姿勢、および作業上の習慣 ● 電気的および物理的安全基準に関する情報
『サービスおよびサポートを受けるには』（日本以外の国や地域のお問い合わせ先については、製品に付属している冊子『Worldwide Telephone Numbers』（英語版）を参照してください） この冊子はお使いのコンピューターに付属しています	HP のサポート窓口の電話番号
HP の Web サイト この Web サイトを表示するには、http://www.hp.com/support/にアクセスします	● サポートに関する情報 ● 部品の購入とその他のヘルプの確認 ● デバイスで利用可能なオプション製品
限定保証規定* オンラインの保証を表示するには、以下の操作を行います **[スタート]**→**[ヘルプとサポート]**→**[ユーザー ガイド]**→**[保証に関する情報の確認]**の順に選択します または **[スタート]**→**[すべてのプログラム]**→**[HP]**→**[HP ドキュメント]**→**[保証に関する情報の確認]**の順に選択します または http://www.hp.com/go/orderdocuments/から[日本（日本語）]を選択します	保証に関する情報

*お使いの製品に適用される HP 限定保証規定は、国や地域によっては、お使いのコンピューターに収録されている電子マニュアルまたは製品に同梱されている CD や DVD に収録されているドキュメントに明示的に示されています。日本向けの日本語モデル製品には、保証内容を記載した小冊子、『サービスおよびサポートを受けるには』が同梱されています。また、日本以外でも、印刷物の HP 限定保証規定が製品に同梱されている国や地域もあります。保証規定が印刷物として提供されていない国または地域では、印刷物のコピーを入手できます。http://www.hp.com/go/orderdocuments/でオンラインで申し込むか、または下記宛てに郵送でお申し込みください。

- **北米**：Hewlett-Packard, MS POD, 11311 Chinden Blvd, Boise, ID 83714, USA
- **ヨーロッパ、中東、アフリカ**：Hewlett-Packard, POD, Via G. Di Vittorio, 9, 20063, Cernusco s/Naviglio (MI), Italy
- **アジア太平洋**：Hewlett-Packard, POD, P.O. Box 200, Alexandra Post Office, Singapore 911507

郵送で請求する場合は、お使いの製品名および保証期間（シリアル番号ラベルに記載されています）、ならびにお客様のお名前およびご住所をお知らせください。

2 コンピューターの概要

表面の各部

タッチパッド

名称		説明
(1)	ポイント スティック（一部のモデルのみ）	ポインターを移動して、画面上の項目を選択したり、アクティブにしたりします
(2)	左のポイント スティック ボタン	ポイント スティックとともに使用でき、外付けマウスの左ボタンと同様に機能します
(3)	タッチパッド オン/オフ ボタン	タッチパッドをオンまたはオフにします
(4)	タッチパッド	ポインターを移動して、画面上の項目を選択したり、アクティブにしたりします 注記： タッチパッドの右端部分で垂直スクロールを行えます
(5)	左のタッチパッド ボタン	外付けマウスの左ボタンと同様に機能します
(6)	右のポイント スティック ボタン	ポイント スティックとともに使用でき、外付けマウスの右ボタンと同様に機能します
(7)	右のタッチパッド ボタン	外付けマウスの右ボタンと同様に機能します

ランプ

注記： お使いのコンピューターに最も近い図を参照してください。下の図は英語版のキー配列です。日本語版のキー配列とは若干異なります。

名称			説明
(1)		タッチパッド オン/オフ ランプ	● オレンジ色：タッチパッドがオフになっています ● 消灯：タッチパッドがオンになっています
(2)		Caps Lock ランプ	点灯：Caps Lock がオンになっています
(3)		電源ランプ	● 点灯：コンピューターの電源がオンになっています ● 点滅：コンピューターがスリープ状態になっています ● 消灯：コンピューターの電源がオフになっているか、ハイバネーション状態になっています
(4)		無線ランプ	● 白色：無線 LAN デバイスや Bluetooth®デバイスなどの内蔵無線デバイスの電源がオンになっています ● オレンジ色：すべての無線デバイスがオフになっています
(5)		QuickWeb ランプ	● 点灯：コンピューターの電源がオンになっています ● 消灯：コンピューターの電源がオフになっているか、ハイバネーション状態になっています 注記： 詳しくは、このガイドの「HP QuickWeb」の項目および[HP QuickWeb]ソフトウェアのヘルプを参照してください
(6)		ミュート（消音）ランプ	● オレンジ色：コンピューターのサウンドがオフになっています ● 消灯：コンピューターのサウンドがオンになっています
(7)		計算機ランプ	● 点灯：Windows®の計算機機能がオンになっています ● 点滅：Windows の計算機機能が有効になりました
(8)		Num Lock ランプ	点灯：Num Lock がオンになっています

ボタンおよび指紋認証システム

注記： お使いのコンピューターに最も近い図を参照してください。下の図は英語版のキー配列です。日本語版のキー配列とは若干異なります。

名称		説明
(1)	タッチパッド オン/オフ ボタン	タッチパッドをオンまたはオフにします

<table>
<tr><th colspan="3">名称</th><th>説明</th></tr>
<tr><td>(2)</td><td></td><td>電源ボタン</td><td>

コンピューターの電源が切れているときにボタンを押すと、電源が入ります
コンピューターの電源が入っているときにボタンを短く押すと、スリープが開始されます
コンピューターがスリープ状態のときにボタンを短く押すと、スリープが終了します
コンピューターがハイバネーション状態のときにボタンを短く押すと、ハイバネーションが終了します

コンピューターが応答せず、Windows のシャットダウン手順を実行できないときは、電源ボタンを 5 秒程度押したままにすると、コンピューターの電源が切れます
電源の設定に関する詳しい情報を調べるには、以下の操作を行います

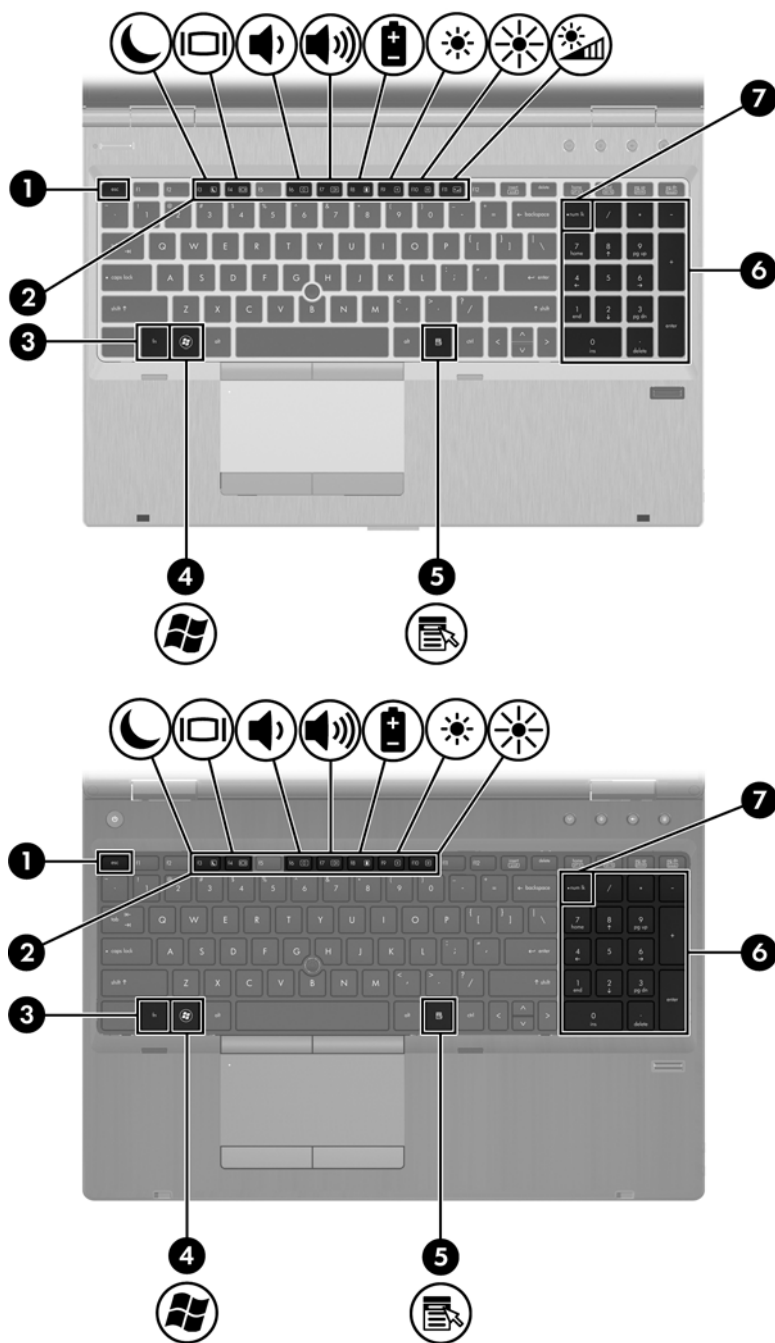
Windows 7：[スタート]→[コントロール パネル]→[システムとセキュリティ]→[電源オプション]の順に選択します
Windows Vista®：[スタート]→[コントロール パネル]→[システムとメンテナンス]→[電源オプション]の順に選択します
『HP ノートブック コンピューター リファレンス ガイド』を参照します

</td></tr>
<tr><td>(3)</td><td></td><td>無線ボタン</td><td>無線機能をオンまたはオフにしますが、無線接続は確立されません</td></tr>
<tr><td>(4)</td><td></td><td>QuickWeb ボタン</td><td>

コンピューターの電源が切れているときまたはハイバネーション状態のときにこのボタンを押すと、[HP QuickWeb]が起動します
コンピューターが Microsoft® Windows を実行しているときにこのボタンを押すと、初期設定の Web ブラウザーが起動します
コンピューターが[HP QuickWeb]を実行しているときにこのボタンを押すと、初期設定の Web ブラウザーが起動します

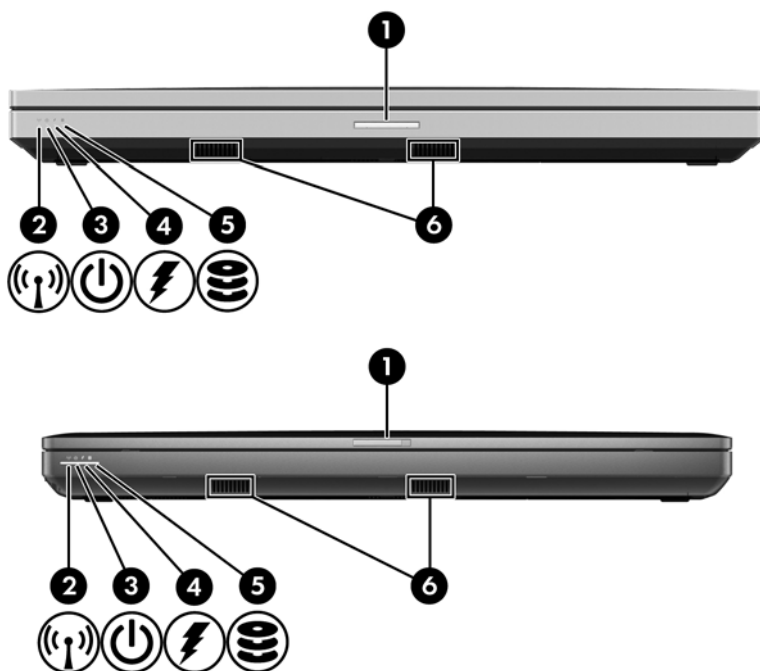
注記： 詳しくは、このガイドの「HP QuickWeb」の項目および[HP QuickWeb]ソフトウェアのヘルプを参照してください。[HP QuickWeb]ソフトウェアがインストールされていないコンピューターでは、このボタンを押しても操作や機能は実行されません
</td></tr>
<tr><td>(5)</td><td></td><td>ミュート（消音）ボタン</td><td>スピーカーの音を消したり音量を元に戻したりします</td></tr>
<tr><td>(6)</td><td></td><td>計算機ボタン（一部のモデルのみ）</td><td>Windows の計算機機能を起動します</td></tr>
<tr><td>(7)</td><td></td><td>指紋認証システム（一部のモデルのみ）</td><td>パスワードの代わりに指紋認証を使用してログオンできます</td></tr>
</table>

キー

注記： お使いのコンピューターに最も近い図を参照してください。下の図は英語版のキー配列です。日本語版のキー配列とは若干異なります。

名称		説明
(1)	esc キー	fn キーと組み合わせて押すことによって、システム情報を表示します
(2)	ファンクション キー	fn キーと組み合わせて押すことによって、頻繁に使用するシステムの機能を実行します

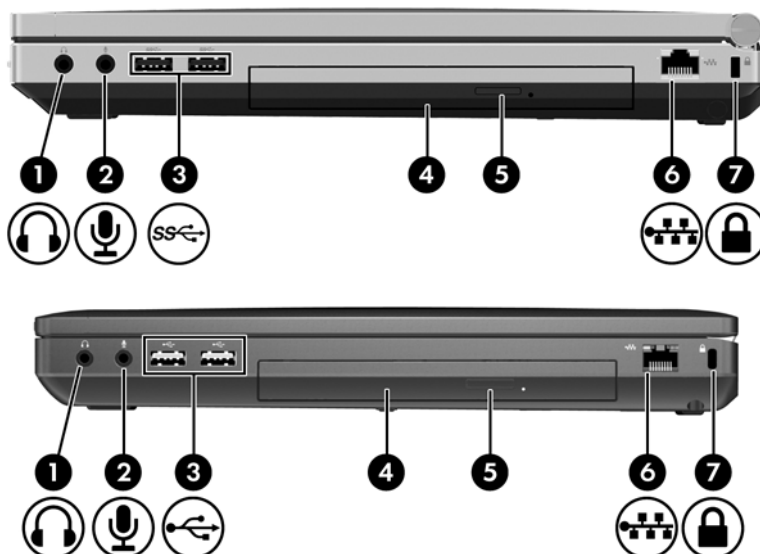
名称			説明
（3）		fn キー	ファンクション キー、num lk キー、または esc キーと組み合わせて押すことによって、頻繁に使用するシステムの機能を実行します
（4）		スタート キー	[スタート]メニューを表示します
（5）		メニュー キー	アクティブなプログラムのショートカット メニュー（右クリック メニュー）を表示します
（6）		内蔵テンキー	内蔵テンキーが有効になっているときは、外付けテンキーと同様に使用できます。上の図は英語版のキー配列です。日本語版のキー配列とは若干異なりますが、内蔵テンキーの位置は同じです
（7）		num lk キー	fn キーと一緒に押すと、内蔵テンキーの有効/無効が切り替わります

前面の各部

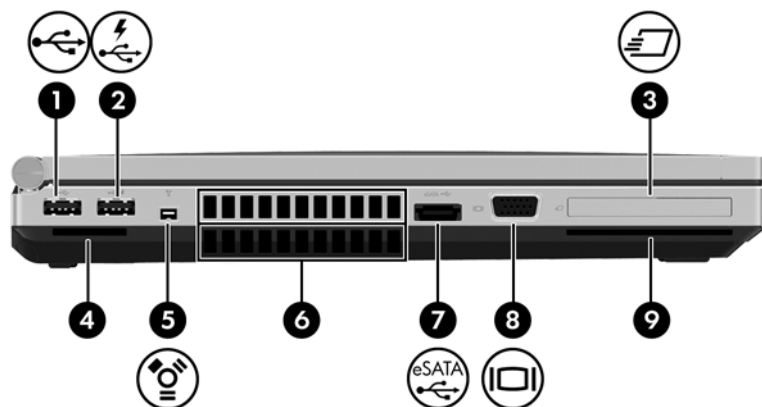
注記： お使いのコンピューターに最も近い図を参照してください。

名称		説明
(1)	ディスプレイ リリース ラッチ	コンピューターを開くときに使用します
(2)	無線ランプ	• 白色：無線 LAN デバイスや Bluetooth デバイスなどの内蔵無線デバイスの電源がオンになっています • オレンジ色：すべての無線デバイスがオフになっています
(3)	電源ランプ	• 点灯：コンピューターの電源がオンになっています • 点滅：コンピューターがスリープ状態になっています • 消灯：コンピューターの電源がオフになっているか、ハイバネーション状態になっています
(4)	バッテリ ランプ	• オレンジ色に点灯：コンピューターは外部電源に接続され、バッテリの充電は 0～90%完了しています • 白色：コンピューターは外部電源に接続され、バッテリの充電は 90～99%完了しています • オレンジ色で点滅：コンピューターの電源としてバッテリのみを使用していて、ロー バッテリ状態になっています。完全なロー バッテリ状態になった場合は、バッテリ ランプがすばやく点滅し始めます • 消灯：バッテリは完全に充電されています

名称		説明
(**5**)	ハードドライブ ランプ	● 青緑色で点滅：ハードドライブまたはオプティカル ドライブにアクセスしています ● オレンジ色：[HP 3D DriveGuard]によってハードドライブが一時停止しています
(**6**)	スピーカー（×2）	SRS Premium Sound を出力します（一部のモデルのみ） **注記：** SRS Premium Sound ソフトウェアを使用するには、**[スタート]**→**[すべてのプログラム]**→**[SRS Premium Sound]**の順に選択します

右側面の各部

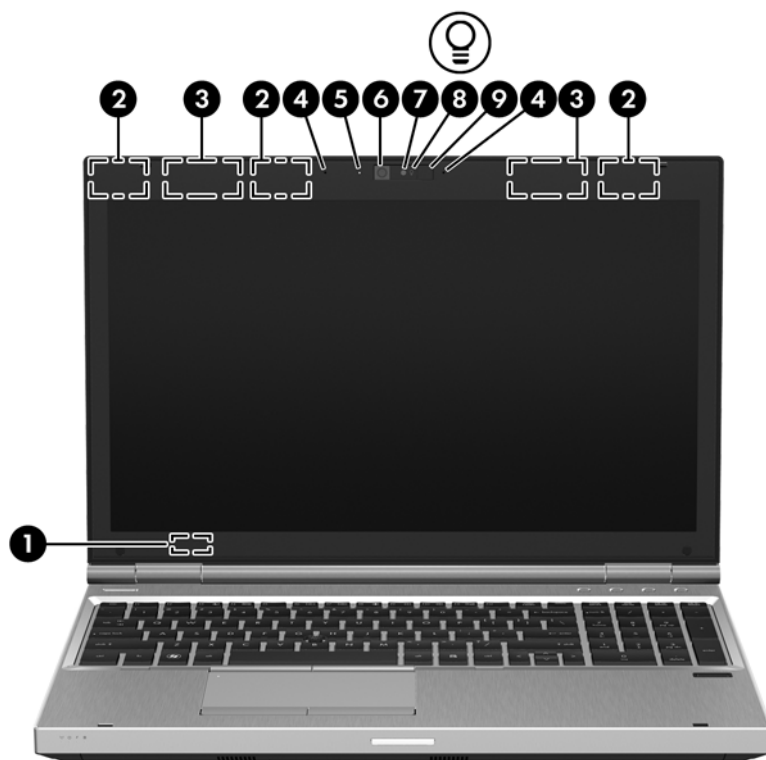
注記： お使いのコンピューターに最も近い図を参照してください。

名称		説明
(1)	オーディオ出力（ヘッドフォン）コネクタ	別売の電源付きステレオ スピーカー、ヘッドフォン、イヤフォン、ヘッドセット、またはテレビ オーディオを接続したときに、サウンドを出力します 注記： ヘッドフォン コネクタにデバイスを接続すると、コンピューター本体のスピーカーは無効になります
(2)	オーディオ入力（マイク）コネクタ	別売のコンピューター用ヘッドセットのマイク、ステレオ アレイ マイク、またはモノラル マイクを接続します
(3)	USB 3.0 コネクタ（×2）	別売の USB デバイスを接続します
	USB コネクタ（×2）	別売の USB デバイスを接続します
(4)	オプティカル ドライブ	オプティカル ディスクの読み取りおよび書き込みを行います（一部のモデルのみ）
(5)	オプティカル ドライブ イジェクト ボタン	オプティカル ドライブをイジェクトします
(6)	RJ-45（ネットワーク）コネクタ	ネットワーク ケーブルを接続します
(7)	セキュリティ ロック ケーブル用スロット	別売のセキュリティ ロック ケーブルをコンピューターに接続します 注記： セキュリティ ロック ケーブルに抑止効果はありますが、コンピューターの盗難や誤った取り扱いを完全に防ぐものではありません

左側面の各部

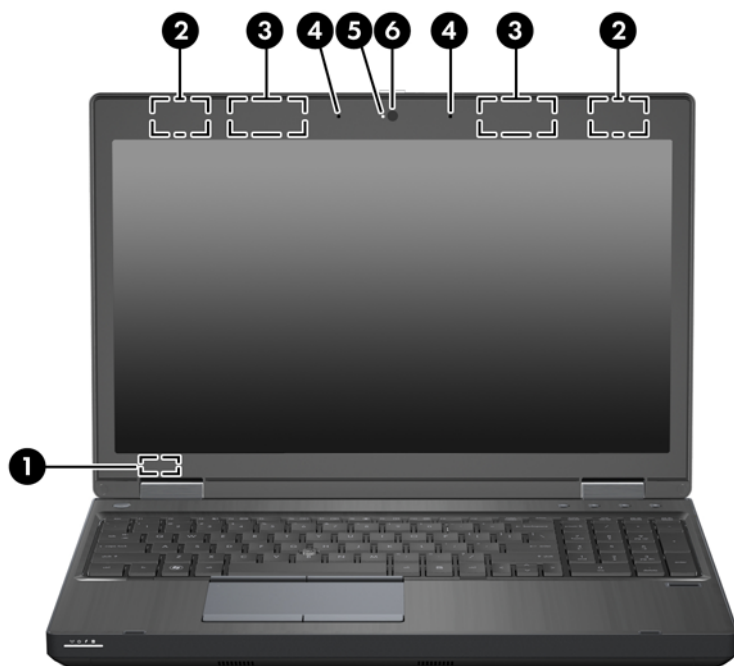
注記： お使いのコンピューターに最も近い図を参照してください。

名称			説明
（1）		USB コネクタ	別売の USB デバイスを接続します
（2）		USB 電源供給機能付き/充電用コネクタ	別売の USB デバイスを接続します
（3）		ExpressCard スロット（一部のモデルのみ）	別売の ExpressCard をサポートしています
（4）		メディア カード リーダー	以下のフォーマットのメディア カードに対応しています • SD（Secure Digital）カード • マルチメディアカード（MMC）
（5）		1394 コネクタ	ビデオ カメラなど、別売の IEEE 1394 または 1394a デバイスを接続します
（6）		通気孔（×2）	コンピューター内部の温度が上がりすぎないように空気を通します **注記：** 内部コンポーネントを冷却して過熱を防ぐため、コンピューターのファンは自動的に作動します。通常の操作を行っているときに内部ファンが回転したり停止したりしますが、これは正常な動作です
（7）	eSATA	eSATA/USB コネクタ	eSATA 外部ハードドライブなどの高性能な eSATA コンポーネント、または別売の USB デバイスを接続します
（8）		外付けモニター コネクタ	外付け VGA モニターまたはプロジェクターを接続します
（9）		スマート カード リーダー スロット（一部のモデルのみ）	別売のスマート カードに対応しています

名称			説明
（1）		USB コネクタ（×2）	別売の USB デバイスを接続します
（2）		メディア カード リーダー	以下のフォーマットのメディア カードに対応しています ● SD（Secure Digital）カード ● マルチメディアカード（MMC）
（3）		1394 コネクタ	ビデオ カメラなど、別売の IEEE 1394 または 1394a デバイスを接続します
（4）		通気孔（×2）	コンピューター内部の温度が上がりすぎないように空気を通します **注記：** 内部コンポーネントを冷却して過熱を防ぐため、コンピューターのファンは自動的に作動します。通常の操作を行っているときに内部ファンが回転したり停止したりしますが、これは正常な動作です
（5）	eSATA	eSATA/USB コネクタ	eSATA 外部ハードドライブなどの高性能な eSATA コンポーネント、または別売の USB デバイスを接続します
（6）		外付けモニター コネクタ	外付け VGA モニターまたはプロジェクターを接続します
（7）		ExpressCard スロットまたはスマート カード リーダー スロット（構成によって異なります）	別売の ExpressCard またはスマート カードに対応しています

ディスプレイの各部

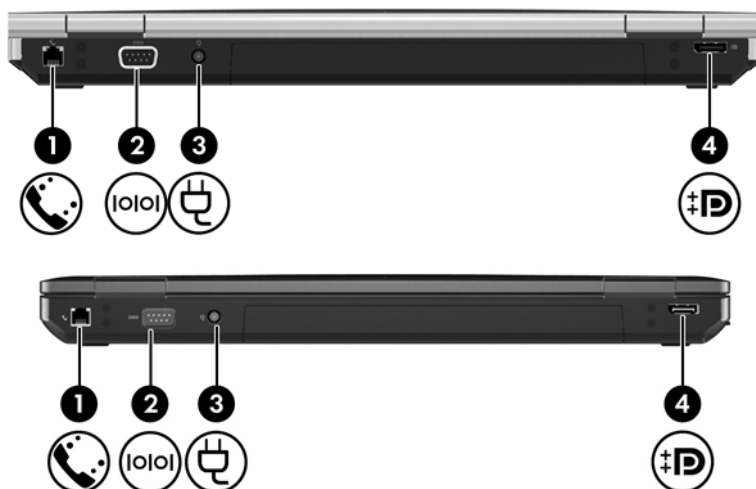
注記： お使いのコンピューターに最も近い図を参照してください。

名称		説明
(1)	内蔵ディスプレイ スイッチ	コンピューターの電源が入っている状態でディスプレイを閉じると、ディスプレイの電源が切れるかスリープが開始します 注記： ディスプレイ スイッチはコンピューターの外側からは見えません
(2)	無線 LAN アンテナ（×3）*	無線ローカル エリア ネットワーク（無線 LAN）で通信する無線信号を送受信します
(3)	無線 WAN アンテナ（×2）*（一部のモデルのみ）	無線ワイド エリア ネットワーク（無線 WAN）で通信する無線信号を送受信します
(4)	内蔵マイク（×2）（一部のモデルのみ）	サウンドを録音します
(5)	Web カメラ ランプ（一部のモデルのみ）	点灯：Web カメラを使用しています
(6)	Web カメラ（一部のモデルのみ）	動画を録画したり、静止画像を撮影したりします Web カメラを使用するには、**[スタート]**→**[すべてのプログラム]**→**[HP]**→**[HP Webcam]**の順に選択します
(7)	周辺光センサー	有効になっていると、周囲の明るさに合わせて画面の輝度が自動的に調節されます
(8)	キーボード ライト	点灯：キーボード ライトが有効になっています

名称		説明
(9)	キーボード ライト ボタン	キーボード ライトを有効にするために使用します

*アンテナはコンピューターの外側からは見えません。転送が最適に行われるようにするため、アンテナの周囲には障害物を置かないでください。お住まいの地域の無線に関する規定情報については、『規定、安全、および環境に関するご注意』を参照してください。これらの規定情報には、[ヘルプとサポート]からアクセスできます。

名称		説明
(1)	内蔵ディスプレイ スイッチ	コンピューターの電源が入っている状態でディスプレイを閉じると、ディスプレイの電源が切れるかスリープが開始します 注記：　ディスプレイ スイッチはコンピューターの外側からは見えません
(2)	無線 LAN アンテナ（×2）*	無線ローカル エリア ネットワーク（無線 LAN）で通信する無線信号を送受信します
(3)	無線 WAN アンテナ（×2）*（一部のモデルのみ）	無線ワイドエリア ネットワーク（無線 WAN）で通信する無線信号を送受信します
(4)	内蔵マイク（モデルによって 1 つまたは 2 つ）	サウンドを録音します
(5)	Web カメラ ランプ（一部のモデルのみ）	点灯：Web カメラを使用しています
(6)	Web カメラ（一部のモデルのみ）	動画を録画したり、静止画像を撮影したりします Web カメラを使用するには、[**スタート**]→[**すべてのプログラム**]→[**HP**]→[**HP Webcam**]の順に選択します

*アンテナはコンピューターの外側からは見えません。転送が最適に行われるようにするため、アンテナの周囲には障害物を置かないでください。お住まいの地域の無線に関する規定情報については、『規定、安全、および環境に関するご注意』を参照してください。これらの規定情報には、[ヘルプとサポート]からアクセスできます。

背面の各部

注記： お使いのコンピューターに最も近い図を参照してください。

名称			説明
（1）		RJ-11（モデム）コネクタ	モデム ケーブルを接続します
（2）		シリアル コネクタ	シリアル モデム、マウス、プリンターなど、別売のデバイスを接続します
（3）		電源コネクタ	AC アダプターを接続します
（4）		DisplayPort	高性能なモニターやプロジェクターなどの別売のデジタル ディスプレイ デバイスを接続します

裏面の各部

注記：　お使いのコンピューターに最も近い図を参照してください。

名称			説明
(1)		バッテリ リリース ラッチ	バッテリ ベイからバッテリを取り外します
(2)		ドッキング コネクタ	別売のドッキング デバイスを接続します
(3)		底面カバー リリース ラッチ	底面カバーを固定または固定解除します
(4)		SIM スロット	無線 SIM（Subscriber Identity Module）カードがあります。SIM スロットは、バッテリ ベイの中にあります
(5)		バッテリ ベイ	バッテリが装着されています
(6)		通気孔（×3）	コンピューター内部の温度が上がりすぎないように空気を通します **注記：** 内部コンポーネントを冷却して過熱を防ぐため、コンピューターのファンは自動的に作動します。通常の操作を行っているときに内部ファンが回転したり停止したりしますが、これは正常な動作です
(7)		スピーカー（×2）	サウンドを出力します
(8)		Bluetooth コンパートメント	Bluetooth デバイスを取り付けます
(9)		無線モジュール コンパートメント、メモリ モジュール コンパートメント、およびハードドライブ ベイ	HP モバイル ブロードバンド モジュール、メモリ モジュール、およびハードドライブが装着されています **注記：** システムの応答停止を防ぐため、無線 LAN モジュールを交換する場合は、日本国内の無線デバイスの認定/承認機関でこのコンピューター用に認定された無線モジュールのみを使用してください。モジュールを交換した後にエラー メッセージが表示される場合は、モジュールを取り外してコンピューターを元の状態に戻した後で、[ヘルプとサポート]からサポート窓口にお問い合わせください
(10)		オプション バッテリ コネクタ	別売のオプション バッテリを接続します

3 ネットワーク

注記： インターネット用ハードウェアおよびソフトウェア機能は、コンピューターのモデルおよびお使いの場所によって異なる可能性があります。

お使いのコンピューターは、以下のどちらか 1 つまたは両方のインターネット アクセスに対応できます。

- 無線：モバイル インターネット接続には、無線接続を使用できます。詳しくは、23 ページの「既存の無線 LAN への接続」または23 ページの「新しい無線 LAN ネットワークのセットアップ」を参照してください。
- 有線：有線ネットワークに接続することで、インターネットにアクセスできます。有線ネットワークへの接続について詳しくは、『HP ノートブック コンピューター リファレンス ガイド』を参照してください。

インターネット サービス プロバイダー（ISP）の使用

インターネットに接続する前に、ISP アカウントを設定する必要があります。インターネット サービスの申し込みおよびモデムの購入については、利用する ISP に問い合わせてください。ほとんどの ISP が、モデムのセットアップ、無線コンピューターをモデムに接続するためのネットワーク ケーブルの取り付け、インターネット サービスのテストなどの作業へのサポートを提供しています。

注記： インターネットにアクセスするためのユーザー ID およびパスワードは、利用する ISP から提供されます。この情報は、記録して安全な場所に保管しておいてください。

以下の機能で、新しいインターネットのアカウントを作成したり、コンピューターで既存のアカウントを使用するよう設定したりできます。

- **Internet Services & Offers（一部の地域で利用可能）**：このユーティリティでは、新しいインターネット アカウントのサインアップを実行したり、既存のアカウントを使用できるようにコンピューターを設定したりできます。このユーティリティにアクセスするには、**[スタート]**→**[すべてのプログラム]**→**[オンライン サービス]**→**[Get Online]**（インターネットに接続）の順に選択します。
- **ISP 提供のアイコン（一部の地域で利用可能）**：これらのアイコンは、Windows デスクトップに個別に表示されているか、または「オンライン サービス」という名前のデスクトップ上のフォルダーに格納されています。新しいインターネット アカウントをセットアップしたりコンピューターで既存のアカウントを使用するよう設定したりするには、アイコンをダブルクリックして、画面の説明に沿って操作します。
- **Windows のインターネットへの接続ウィザード**：以下の場合、Windows のインターネットへの接続ウィザードを使用してインターネットに接続できます。
  - すでに ISP のアカウントを持っている場合
  - インターネット アカウントを持っていないためウィザード内の一覧から ISP を選択する場合（ISP の一覧は地域によっては表示されない場合があります）
  - 一覧にない ISP を選択し、その ISP から特定の IP アドレス、POP3、SMTP 設定などの情報が提供された場合

  Windows のインターネットへの接続ウィザードおよびこのウィザードの使用手順を表示するには、**[スタート]**→**[ヘルプとサポート]**の順に選択してから、[検索]ボックスに「インターネットへの接続ウィザード」と入力します。

  注記： ウィザード内で Windows ファイアウォールの有効/無効を選択する画面が表示された場合は、ファイアウォールを有効にします。

無線ネットワークへの接続

無線技術では、有線のケーブルの代わりに電波を介してデータを転送します。お買い上げいただいたコンピューターには、以下の無線デバイスが 1 つ以上内蔵されている場合があります。

- 無線ローカル エリア ネットワーク（無線 LAN）デバイス
- HP モバイル ブロードバンド モジュール、無線ワイド エリア ネットワーク（無線 WAN）デバイス
- Bluetooth デバイス

無線技術および無線ネットワークへの接続について詳しくは、『HP ノートブック コンピューター リファレンス ガイド』および[ヘルプとサポート]の情報および Web サイトへのリンクを参照してください。

既存の無線 LAN への接続

1. コンピューターの電源を入れます。
2. 無線 LAN デバイスがオンになっていることを確認します。
3. タスクバーの右端の通知領域にあるネットワーク アイコンをクリックします。
4. 接続先となるネットワークを選択します。
5. [**接続**]をクリックします。
6. 必要に応じて、セキュリティ キーを入力します。

新しい無線 LAN ネットワークのセットアップ

以下の機器が必要です。

- ブロードバンド モデム（DSL またはケーブル）（**1**）およびインターネット サービス プロバイダー（ISP）が提供する高速インターネット サービス
- 無線ルーター（別売）（**2**）
- お使いの新しい無線コンピューター（**3**）

注記： モデムは内蔵ルーターに含まれている場合があります。ISP に問い合わせてモデムの種類を確認してください。

下の図は、インターネットに接続している無線 LAN ネットワークの設置例を示しています。お使いのネットワークを拡張する場合、インターネットのアクセス用に新しい無線または有線のコンピューターをネットワークに追加できます。

無線ルーターの設定

無線 LAN のセットアップについて詳しくは、ルーターの製造元またはインターネット サービス プロバイダー（ISP）から提供されている情報を参照してください。

Windows オペレーティング システムでは、新しい無線ネットワークのセットアップに役立つツールも用意されています。Windows のツールを使用してネットワークをセットアップするには、以下の操作を行います。

- **Windows 7**：[**スタート**]→[**コントロール パネル**]→[**ネットワークとインターネット**]→[**ネットワークと共有センター**]→[**新しい接続またはネットワークのセットアップ**]→[**ネットワークのセットアップ**]の順に選択します。次に、画面の説明に沿って操作します。
- **Windows Vista**：[**スタート**]→[**コントロール パネル**]→[**ネットワークとインターネット**]→[**ネットワークと共有センター**]→[**接続またはネットワークのセットアップ**]→[**ワイヤレス ルーターまたはアクセス ポイントをセットアップします**]の順に選択します。次に、画面の説明に沿って操作します。

注記： 最初にルーターに付属しているネットワーク ケーブルを使用して、新しい無線コンピューターをルーターに接続することをおすすめします。コンピューターが正常にインターネットに接続できたら、ケーブルを外し、無線ネットワークを介してインターネットにアクセスできます。

無線 LAN の保護

無線 LAN をセットアップする場合や、既存の無線 LAN にアクセスする場合は、常にセキュリティ機能を有効にして、不正アクセスからネットワークを保護してください。

無線 LAN の保護について詳しくは、『HP ノートブック コンピューター リファレンス ガイド』を参照してください。

4 HP QuickWeb

お使いになる前に

[HP QuickWeb]環境では、たくさんのお気に入りの機能を楽しく利用できます。コンピューターの電源を入れて数秒で、インターネット、ウィジェット、およびコミュニケーション プログラムを利用できるようになります。コンピューターの QuickWeb ボタンを押すだけで、インターネットにアクセスしたり、[Skype]で連絡を取ったり、[HP QuickWeb]のその他のプログラムを使用したりできます。

[HP QuickWeb]のホーム画面には以下の機能が表示されます。

- Web ブラウザー：インターネットを検索および参照し、お気に入りの Web サイトへのリンクを作成します。
- Skype：VoIP（Voice over Internet Protocol）に対応した[Skype]アプリケーションを使用して通話します。[Skype]では、一度に 1 人だけでなく複数の人と電話会議またはビデオ チャットを開催できます。また、固定電話番号に長距離電話をかけることもできます。
- QuickWeb 電子メール：Web ベースの電子メール プロバイダーや、独自のメール サーバーに接続して電子メールを送受信します。
- ウィジェット：ニュース、天気、ソーシャル ネットワーキング、株価、電卓、付箋などのウィジェットを使用します。[ウィジェット マネージャー]を使用して、[HP QuickWeb]のホーム画面にウィジェットを追加することもできます。

注記： [HP QuickWeb]の使用方法について詳しくは、[HP QuickWeb]ソフトウェアのヘルプを参照してください。

[HP QuickWeb]の起動

- [HP QuickWeb]を起動するには、コンピューターがオフになっているときまたはハイバネーション状態になっているときに QuickWeb ボタンを押します。

以下の表に、QuickWeb ボタンを押したときの動作を示します。

ボタン	動作
QuickWeb ボタン	• コンピューターがオフになっている場合またはハイバネーション状態になっている場合は、[HP QuickWeb]が起動します • コンピューターが Microsoft Windows を実行中の場合は、初期設定の Web ブラウザーが起動します • コンピューターが[HP QuickWeb]を実行中の場合は、初期設定の Web ブラウザーが起動します 注記： [HP QuickWeb]ソフトウェアがインストールされていないコンピューターでは、このボタンを押しても操作や機能は実行されません

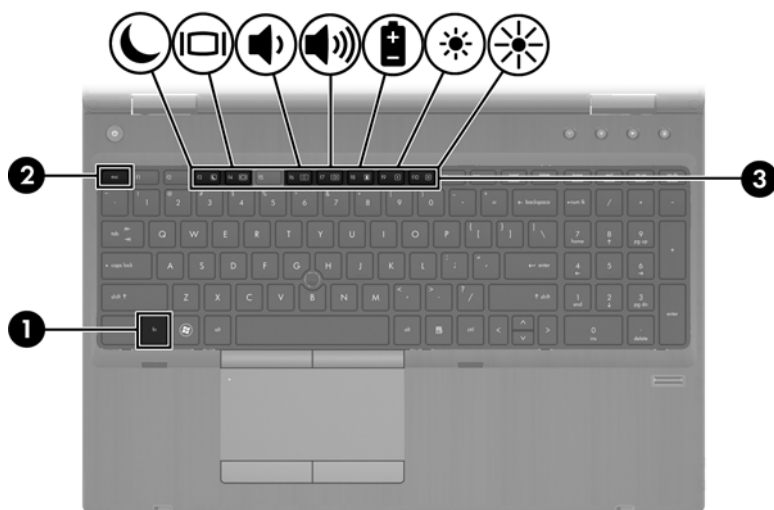
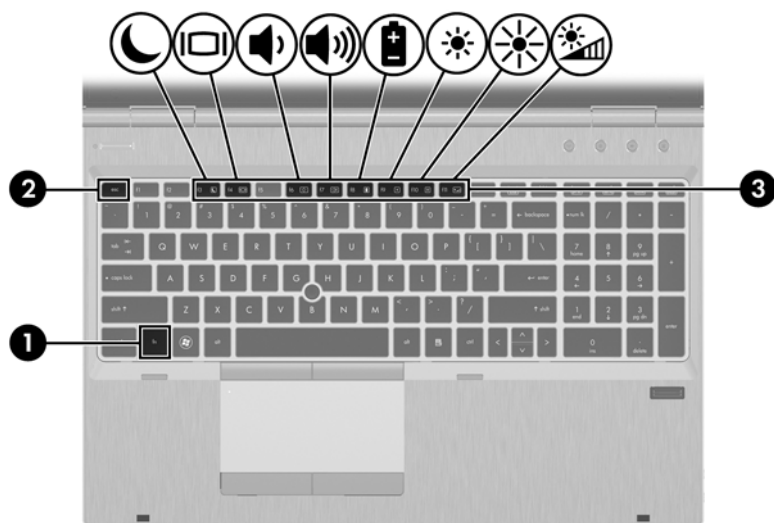
注記： 詳しくは、[HP QuickWeb]ソフトウェアのヘルプを参照してください。

5　キーボードおよびポインティング デバイス

キーボードの使用

ホットキーの位置

注記： お使いのコンピューターに最も近い図を参照してください。下の図は英語版のキー配列です。日本語版のキー配列とは若干異なります。

ホットキーは、fn キー（**1**）と、esc キー（**2**）またはファンクション キーのどれか（**3**）の組み合わせです。

ホットキーを使用するには、以下の操作を行います。

▲ fn キーを短く押し、次にホットキーの組み合わせの 2 番目のキーを短く押します。

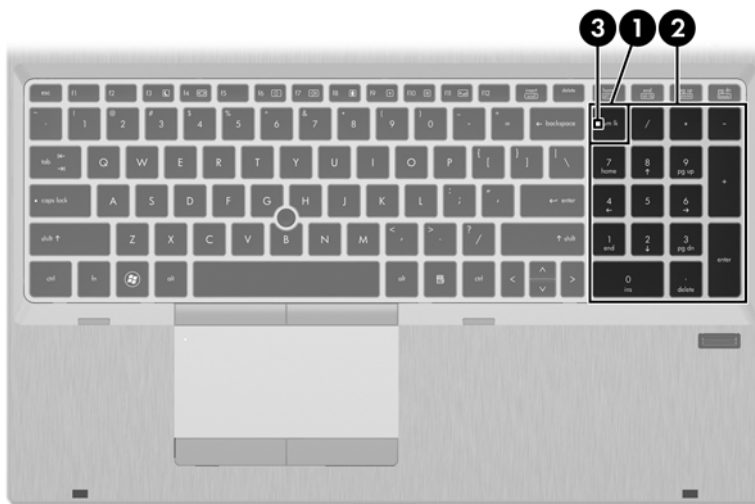
ホットキーの組み合わせ	説明
fn + esc	システム情報を表示します

ホットキーの組み合わせ		説明
	fn + f3	スリープを開始します。これによって、情報がシステムに保存されます。ディスプレイとその他のシステム コンポーネントはオフになり、節電されます スリープを終了するには、電源ボタンを短く押します 注意： 情報の損失を防ぐために、スリープを開始する前に必ずデータを保存してください 注記： コンピューターがスリープ状態のときに完全なロー バッテリ状態になった場合、ハイバネーションが開始され、メモリ内の情報がハードドライブに保存されます fn + f3 ホットキーの機能は変更できます。たとえば、スリープではなくハイバネーションを開始するように fn + f3 ホットキーを設定することもできます。Windows オペレーティング システムのウィンドウでのスリープ ボタンに関する記述はすべて、fn + f3 ホットキーに当てはまります
	fn + f4	システムに接続されているディスプレイ デバイス間で画面を切り替えます。たとえば、コンピューターに外付けモニターを接続している場合は、fn + f4 を押すと、コンピューター本体のディスプレイ、外付けモニターのディスプレイ、コンピューター本体と外付けモニターの両方のディスプレイのどれかに表示画面が切り替わります ほとんどの外付けモニターは、外付け VGA ビデオ方式を使用してコンピューターからビデオ情報を受け取ります。fn + f4 ホットキーでは、コンピューターからビデオ情報を受信する他のデバイスとの間でも表示画面を切り替えることができます
	fn + f6	スピーカーの音量を下げます
	fn + f7	スピーカーの音量を上げます
	fn + f8	取り付けられているすべてのバッテリの残量についての情報を表示します。ディスプレイに、充電中のバッテリが表示され、各バッテリの残量がレポートされます
	fn + f9	画面の輝度を下げます
	fn + f10	画面の輝度を上げます
	fn + f11	周辺光センサーを有効または無効にします。有効になっていると、周囲の明るさに合わせて画面の輝度が自動的に調節されます

テンキーの使用

このコンピューターには、テンキーが内蔵されています。また、別売の外付けテンキーや、テンキーを備えた別売の外付けキーボードも使用できます。

内蔵テンキーの使用

注記： お使いのコンピューターに最も近い図を参照してください。下の図は英語版のキー配列です。日本語版のキー配列とは若干異なりますが、内蔵テンキーの位置は同じです。

	名称	説明
（1）	num lk キー	内蔵テンキーのナビゲーション機能と数字入力機能が切り替わります 注記： テンキー機能がコンピューターの電源を切ったときに有効だった場合は、次回コンピューターの電源を入れたときにもその状態のままです
（2）	内蔵テンキー	外付けテンキーと同じように使用できます。上の図は英語版のキー配列です。日本語版のキー配列とは若干異なりますが、内蔵テンキーの位置は同じです
（3）	Num Lock ランプ	● 点灯：テンキー機能は数字入力機能として動作しています ● 消灯：テンキー機能はナビゲーション機能として動作しています

別売の外付けテンキーの使用

通常、外付けテンキーのほとんどのキーは、Num Lock がオンのときとオフのときとで機能が異なります（出荷時設定では、Num Lock はオフになっています）。たとえば、以下のようになります。

- Num Lock がオンのときは、数字を入力できます。
- Num Lock がオフのときは、矢印キー、page up キー、page down キーと同様に機能します。

外付けテンキーで Num Lock をオンにすると、コンピューターの Num Lock ランプが点灯します。外付けテンキーで Num Lock をオフにすると、コンピューターの Num Lock ランプが消灯します。

作業中に外付けテンキーの Num Lock のオンとオフを切り替えるには、以下の操作を行います。

▲ コンピューターではなく、外付けテンキーの num lk キーを押します。

ポインティング デバイスの使用

注記： お使いのコンピューターに付属しているポインティング デバイス以外に、外付け USB マウス（別売）をコンピューターの USB コネクタのどれかに接続して使用できます。

ポインティング デバイス機能のカスタマイズ

ボタンの構成、クリック速度、ポインター オプションのような、ポインティング デバイスの設定をカスタマイズするには、Windows の[マウスのプロパティ]を使用します。

[マウスのプロパティ]にアクセスするには、以下の操作を行います。

Windows 7：[**スタート**]→[**デバイスとプリンター**]の順に選択します。次に、お使いのコンピューターを表すデバイスを右クリックして、[**マウス設定**]を選択します。

Windows Vista：[**スタート**]→[**コントロール パネル**]→[**ハードウェアとサウンド**]→[**マウス**]の順に選択します。

ポイント スティックの使用

ポイント スティックを移動したい方向に向かって押しつけます。ポイント スティックの左右のボタンは、外付けマウスの左右のボタンと同様に機能します。

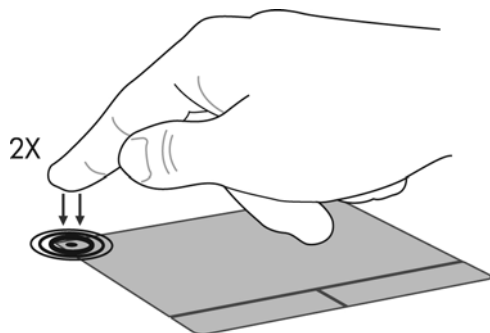
タッチパッドの使用

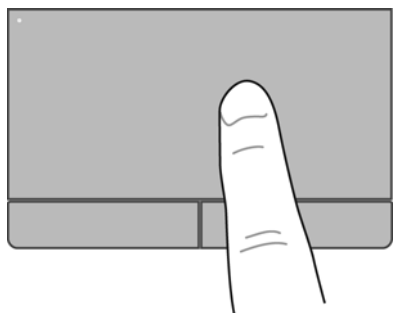
ポインターを移動するには、タッチパッド上でポインターを移動したい方向に 1 本の指をスライドさせます。左のタッチパッド ボタンと右のタッチパッド ボタンは、外付けマウスの左右のボタンと同様に使用します。タッチパッドのスクロール ゾーンを使用して画面を上下にスクロールするには、スクロール ゾーンの線上で指を上下にスライドさせます。

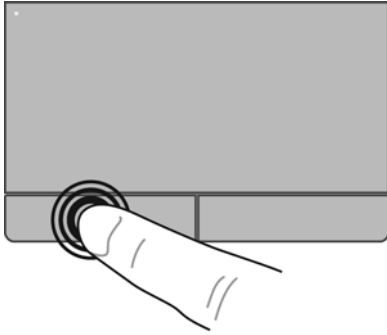
注記： ポインターの移動にタッチパッドを使用している場合、まずタッチパッドから指を離し、その後でスクロール ゾーンに指を置きます。タッチパッドからスクロール ゾーンへ指を動かすだけでは、スクロール機能はアクティブになりません。

タッチパッドのオフ/オンの切り替え

タッチパッド ゾーンのオフとオンを切り替えるには、タッチパッド オン/オフ ランプをすばやくダブルタップします。

注記： タッチパッドがオンになっているときは、タッチパッド オン/オフ ランプは消灯しています。

移動

ポインターを移動するには、タッチパッド上でポインターを移動したい方向に 1 本の指をスライドさせます。

選択

左のタッチパッド ボタンと右のタッチパッド ボタンは、外付けマウスの左右のボタンと同様に使用します。

タッチパッド ジェスチャの使用

タッチパッドでは、さまざまな種類のジェスチャがサポートされています。タッチパッド ジェスチャを使用するには、2 本の指を同時にタッチパッド上に置きます。

注記： プログラムによっては、一部のタッチパッド ジェスチャに対応していない場合があります。

ジェスチャのデモンストレーションを確認するには、以下の操作を行います。

1. タスクバーの右端の通知領域にある[**Synaptics**]（シナプティクス）アイコンを右クリックしてから、[**TouchPad Properties**]（タッチパッドのプロパティ）をクリックします。
2. ジェスチャをクリックし、デモンストレーションを開始します。

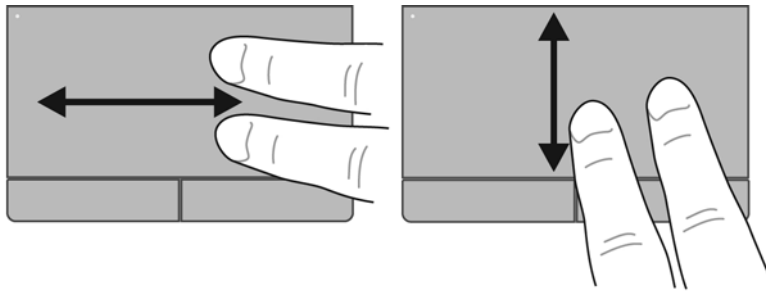
ジェスチャをオンまたはオフにするには、以下の操作を行います。

1. タスクバーの右端の通知領域にある[**Synaptics**]アイコンを右クリックしてから、[**TouchPad Properties**]をクリックします。
2. オンまたはオフにするジェスチャを選択します。
3. [**Apply**]（適用）→[**OK**]の順にクリックします。

スクロール

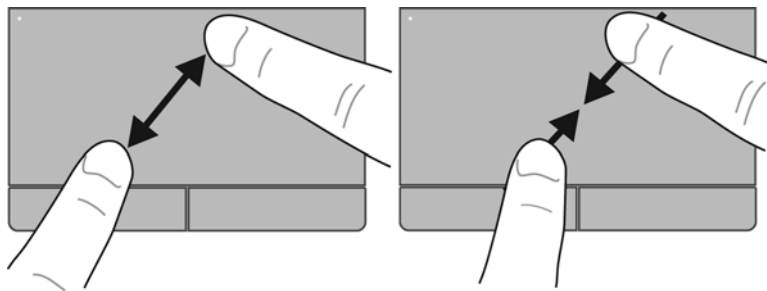
スクロールは、ページや画像を上下左右に移動するときに便利です。スクロールするには、2 本の指を少し離してタッチパッド上に置き、タッチパッド上で上下左右の方向にドラッグします。

注記： スクロールの速度は、指を動かす速度で調整します。

注記： 2 本指スクロールは、出荷時に有効に設定されています。

ピンチ/ズーム

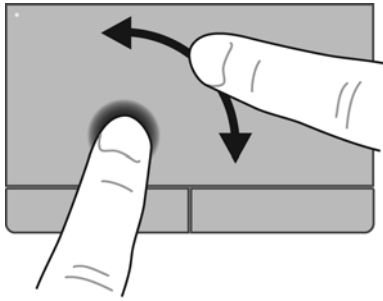
ピンチを使用すると、画像やテキストをズームインまたはズームアウトできます。

- タッチパッド上で 2 本の指を一緒の状態にして置き、その 2 本の指の間隔を拡げるとズームインできます。
- タッチパッド上で 2 本の指を互いに離した状態にして置き、その 2 本の指の間隔を狭めるとズームアウトできます。

注記： ピンチ/ズーム ジェスチャは、出荷時の設定で有効に設定されています。

回転

回転ジェスチャを使用すると、写真などの項目を回転できます。回転させるには、左手の人差し指をタッチパッド ゾーンに固定します。固定した指を中心として、右手の人差し指を 12 時から 3 時の位置へと弧を描きながら動かします。逆方向へと回転させるには、右手の人差し指を 3 時から 12 時の方向に動かします。

注記： 回転ジェスチャは、タッチパッド ゾーン内で行う必要があります。

注記： 回転ジェスチャは、出荷時の設定で無効に設定されています。

6　メンテナンス

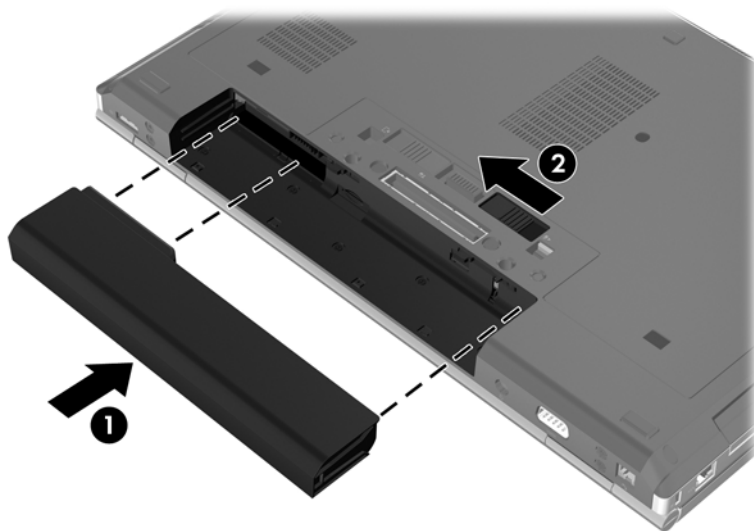
バッテリの着脱

注記： バッテリの使用方法について詳しくは、『HP ノートブック コンピューター リファレンス ガイド』を参照してください。

バッテリを装着するには、以下の操作を行います。

1. バッテリ ベイが手前を向くようにしてコンピューターを裏返し、安定した平らな場所に置きます。

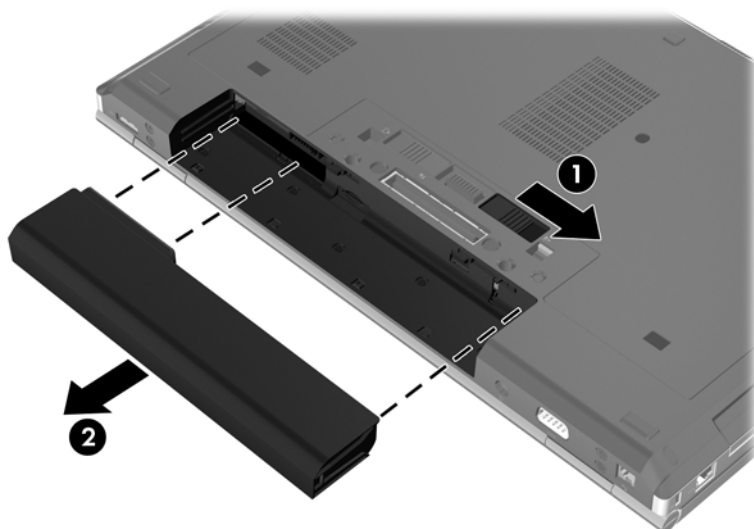
2. バッテリ ベイにバッテリを挿入し、しっかりと収まるまで押し込みます（**1**）。

   バッテリ リリース ラッチ（**2**）でバッテリが自動的に固定されます。

バッテリを取り外すには、以下の操作を行います。

注意： コンピューターの電源としてバッテリのみを使用しているときにそのバッテリを取り外すと、情報が失われる可能性があります。バッテリを取り外す場合は、情報の損失を防ぐため、あらかじめハイバネーションを開始するか Windows の通常の手順でシャットダウンしておいてください。

1. バッテリ ベイが手前を向くようにしてコンピューターを裏返し、安定した平らな場所に置きます。

2. バッテリ リリース ラッチをスライドさせて（**1**）バッテリの固定を解除します。

3. バッテリをコンピューターから取り外します（**2**）。

底面カバーの取り外しまたは取り付けなおし

⚠ **注意：** 情報の損失やシステムの応答停止を防ぐため、以下の点に注意してください。

メモリ モジュールやハードドライブの追加または交換を行う前に、作業中のデータを保存してコンピューターをシャットダウンします。

コンピューターの電源が切れているかハイバネーション状態なのかわからない場合は、まず電源ボタンを押してコンピューターの電源を入れます。次にオペレーティング システムの通常の手順でシャットダウンします。

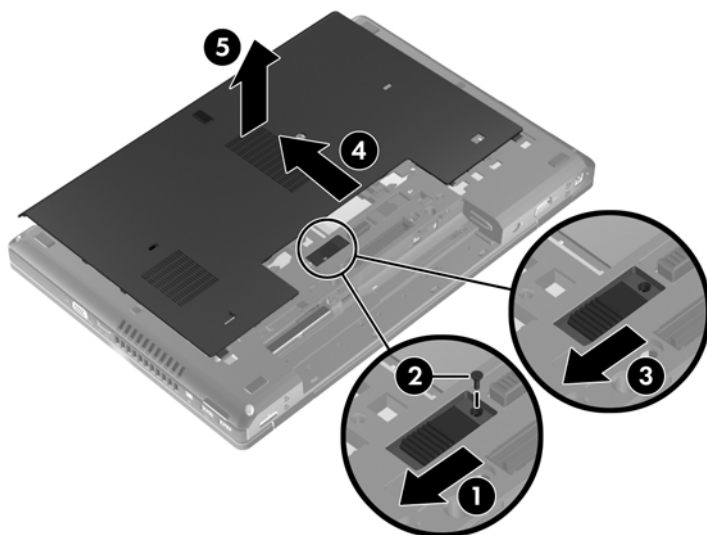
底面カバーの取り外し

底面カバーを取り外すと、メモリ モジュール スロット、ハードドライブ、規定ラベル、およびその他のコンポーネントにアクセスできます。

底面カバーを取り外すには、以下の操作を行います。

1. バッテリを取り外します（36 ページの「バッテリの着脱」を参照してください）。
2. バッテリ ベイが手前を向くようにして置き、底面カバーのリリース ラッチを左方向にスライドさせ（**1**）、（オプションのネジを使用している場合は）ネジを取り外して（**2**）、もう一度リリース ラッチをスライドさせると（**3**）、底面カバーが外れます。

   注記： オプションのネジは、底面カバー内に格納されています。

3. 底面カバーをコンピューターの前面の方向にスライドさせ（**4**）、持ち上げて（**5**）取り外します。

底面カバーの取り付けなおし

メモリ モジュール スロット、ハードドライブ、規定ラベル、およびその他のコンポーネントに対する作業が終了したら、底面カバーを取り付けなおします。

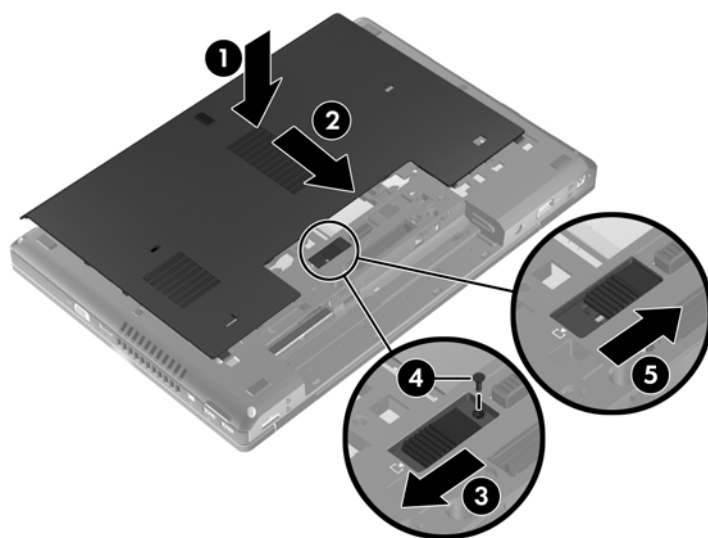
底面カバーを取り付けなおすには、以下の操作を行います。

1. 底面カバーを下向きにして傾けて、その前端部をコンピューターの前端部付近に合わせます（**1**）。

2. 底面カバーの後端部にある位置合わせタブを、コンピューターのくぼみに合わせます（**2**）。

3. カチッと音がして固定されるまで、底面カバーをバッテリ ベイの方向にスライドさせます。

4. バッテリ ベイが手前を向くようにして、底面カバーのリリース ラッチを左方向にスライドさせ（**3**）、必要に応じて、オプションのネジ（**4**）を差し込んで締め、底面カバーを所定の位置に保ちます。リリース ラッチを右方向にスライドさせて、底面カバーを固定します（**5**）。

注記： オプションのネジは、底面カバー内に格納されています。

5. バッテリを装着します（36 ページの「バッテリの着脱」を参照してください）。

ハードドライブの交換またはアップグレード

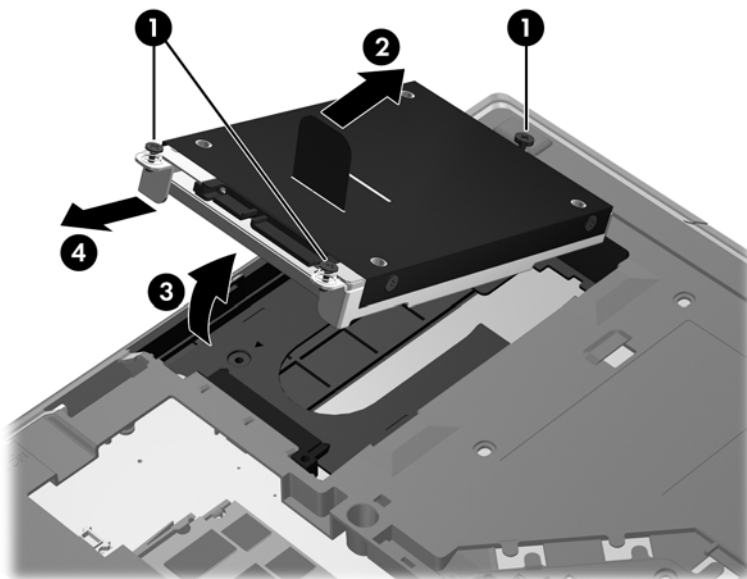
注意： 情報の損失やシステムの応答停止を防ぐため、以下の点に注意してください。

ハードドライブ ベイからハードドライブを取り外す前に、コンピューターをシャットダウンしてください。コンピューターの電源が入っているときや、スリープまたはハイバネーション状態のときには、ハードドライブを取り外さないでください。

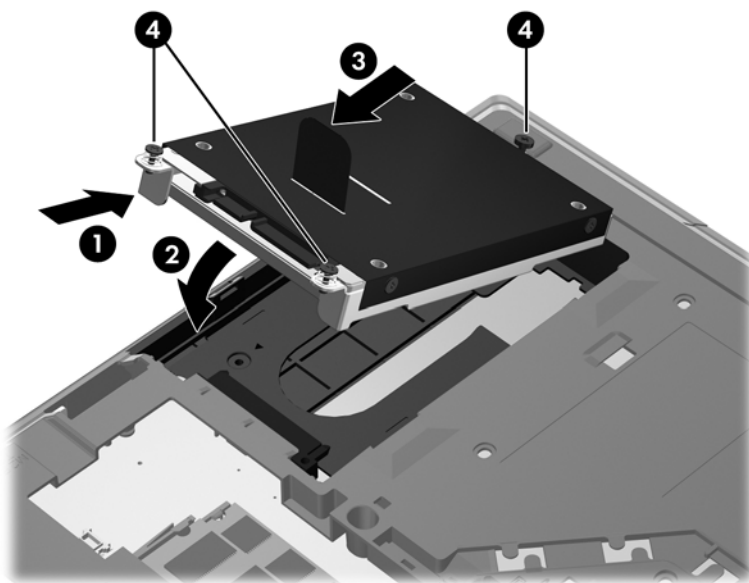
コンピューターの電源が切れているかハイバネーション状態なのかわからない場合は、まず電源ボタンを押してコンピューターの電源を入れます。次にオペレーティング システムの通常の手順でシャットダウンします。

ハードドライブの取り外し

ハードドライブを取り外すには、以下の操作を行います。

1. 作業中のデータを保存してコンピューターをシャットダウンします。
2. コンピューターに接続されている外部電源および外付けデバイスを取り外します。
3. バッテリを取り外します（36 ページの「バッテリの着脱」を参照してください）。
4. 底面カバーを取り外します（38 ページの「底面カバーの取り外し」を参照してください）。
5. ハードドライブの 3 つのネジ（**1**）を緩めます。
6. ハードドライブ上のプラスチック製タブをコンピューターの側面方向に引いて（**2**）、ハードドライブをコネクタから外します。
7. プラスチック製タブを使用して、ハードドライブのコネクタ側を傾けながら持ち上げ（**3**）、コンピューターからドライブを取り外します**(4)**。

ハードドライブの取り付け

ハードドライブを取り付けるには、以下の操作を行います。

1. ハードドライブをハードドライブ ベイに傾けながら挿入し（**1**）、ハードドライブ ベイ内に水平に置きます（**2**）。
2. プラスチック製のタブをコンピューターの中心方向に引っ張り（**3**）、ハードドライブをコネクタに接続します。
3. ハードドライブのネジ（**4**）を締めます。

4. 底面カバーを取り付けなおします（38 ページの「底面カバーの取り付けなおし」を参照してください）。
5. バッテリを装着します（36 ページの「バッテリの着脱」を参照してください）。
6. 外部電源および外付けデバイスをコンピューターに接続します。
7. コンピューターの電源を入れます。

アップグレード ベイ内のドライブの交換

アップグレード ベイには、ハードドライブまたはオプティカル ドライブのどちらかを格納できます。

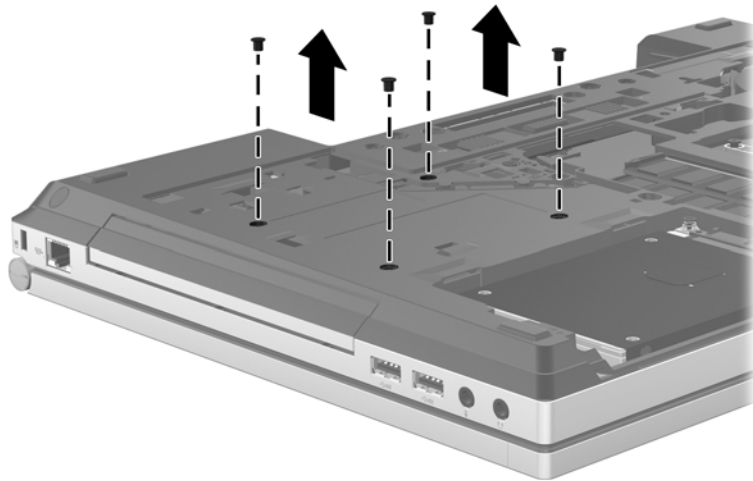
ハードドライブの交換

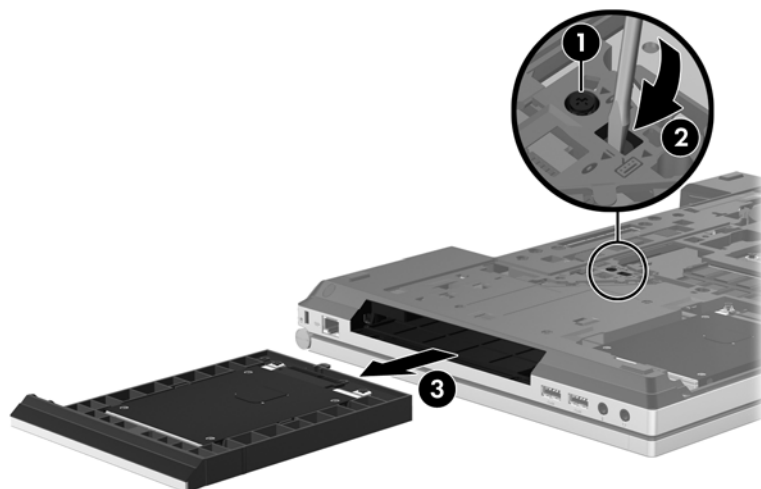
⚠ **注意：** 情報の損失やシステムの応答停止を防ぐため、以下の点に注意してください。

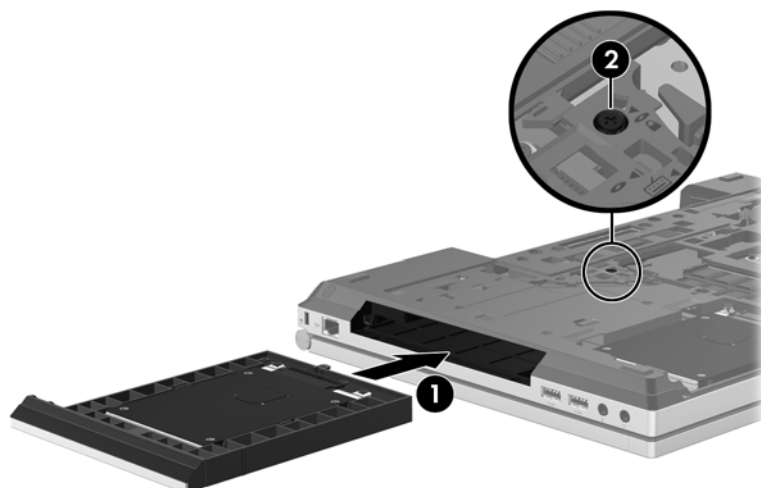
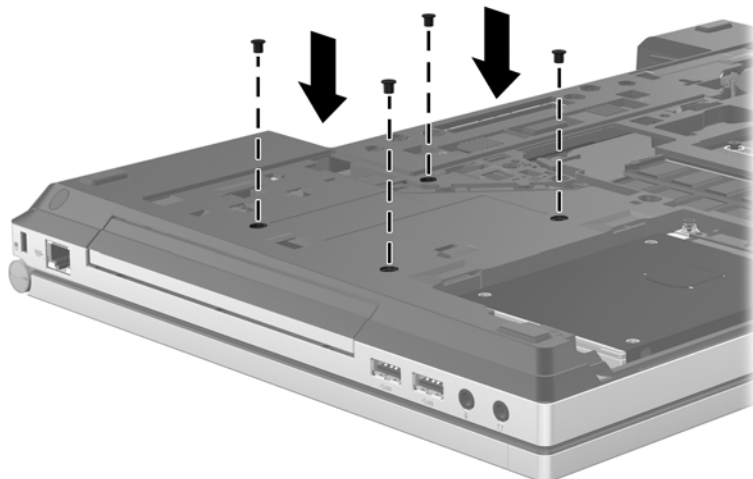
アップグレード ベイからハードドライブを取り外す前に、コンピューターをシャットダウンしてください。コンピューターの電源が入っているときや、スリープまたはハイバネーション状態のときには、ハードドライブを取り外さないでください。

コンピューターの電源が切れているかハイバネーション状態なのかわからない場合は、まず電源ボタンを押してコンピューターの電源を入れます。次にオペレーティング システムの通常の手順でシャットダウンします。

ハードドライブをアップグレード ベイから取り出すには、以下の操作を行います。

1. 必要なデータを保存します。
2. コンピューターをシャットダウンし、ディスプレイを閉じます。
3. コンピューターに接続されているすべての外付けハードウェア デバイスを取り外します。
4. 電源コンセントから電源コードを抜きます。
5. アップグレード ベイが手前を向くようにしてコンピューターを裏返し、安定した平らな場所に置きます。
6. バッテリを取り外します（36 ページの「バッテリの着脱」を参照してください）。
7. 底面カバーを取り外します（38 ページの「底面カバーの取り外し」を参照してください）。
8. アップグレード ベイからハードドライブのネジを取り外します。

9. アップグレード ベイのネジ（**1**）を緩めます。
10. マイナスのネジ回しを使用してつまみをそっと押し込んで、ハードドライブの固定を解除します（**2**）。

11. ハードドライブをアップグレード ベイから取り出します（**3**）。

アップグレード ベイにハードドライブを装着するには、以下の操作を行います。

1. ハードドライブをアップグレード ベイに挿入し（**1**）、アップグレード ベイのネジ（**2**）を締めなおします。

2. ハードドライブのネジを取り付けます。

3. 底面カバーを取り付けなおします（38 ページの「底面カバーの取り付けなおし」を参照してください）。

4. バッテリを取り付けます（36 ページの「バッテリの着脱」を参照してください）。

5. コンピューターのカバーを上にして置き、外部電源および外付けデバイスをコンピューターに接続しなおします。

6. コンピューターの電源を入れます。

オプティカル ドライブの交換

注意： 情報の損失やシステムの応答停止を防ぐため、以下の点に注意してください。

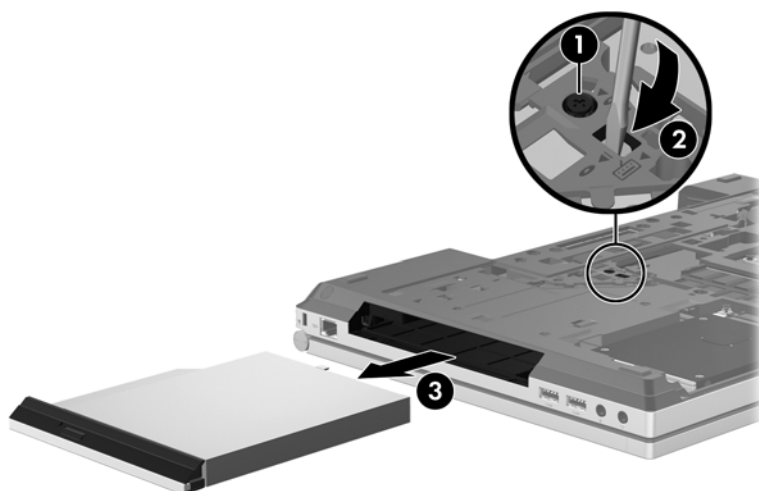
アップグレード ベイからオプティカル ドライブを取り外す前に、コンピューターをシャットダウンしてください。コンピューターの電源が入っているときや、スリープまたはハイバネーション状態のときには、オプティカル ドライブを取り外さないでください。

コンピューターの電源が切れているかハイバネーション状態なのかわからない場合は、まず電源ボタンを押してコンピューターの電源を入れます。次にオペレーティング システムの通常の手順でシャットダウンします。

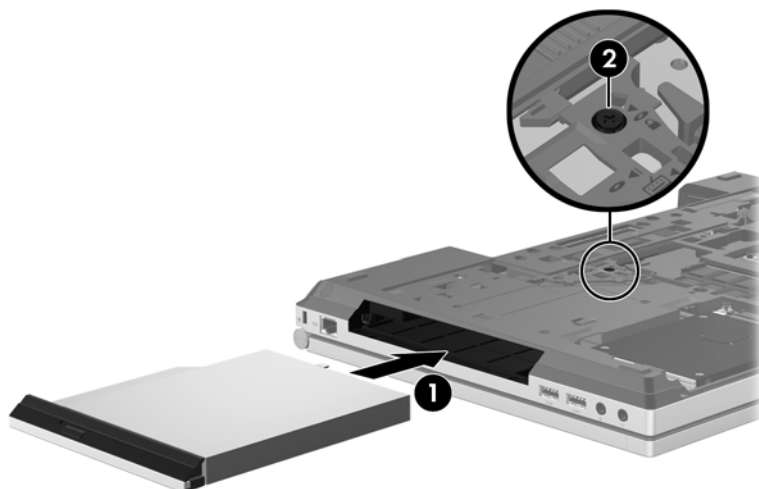
オプティカル ドライブをアップグレード ベイから取り出すには、以下の操作を行います。

1. 必要なデータを保存します。
2. コンピューターをシャットダウンし、ディスプレイを閉じます。
3. コンピューターに接続されているすべての外付けハードウェア デバイスを取り外します。
4. 電源コンセントから電源コードを抜きます。
5. アップグレード ベイが手前を向くようにしてコンピューターを裏返し、安定した平らな場所に置きます。
6. バッテリを取り外します（36 ページの「バッテリの着脱」を参照してください）。
7. 底面カバーを取り外します（38 ページの「底面カバーの取り外し」を参照してください）。
8. アップグレード ベイのネジ（**1**）を緩めます。

9. マイナスのネジ回しを使用してつまみをそっと押し込んで、オプティカル ドライブの固定を解除します（**2**）。

10. オプティカル ドライブをアップグレード ベイから取り出します（**3**）。

オプティカル ドライブをアップグレード ベイに装着するには、以下の操作を行います。

1. オプティカル ドライブをアップグレード ベイに挿入します（**1**）。

2. アップグレード ベイのネジ（**2**）を締めなおします。

3. 底面カバーを取り付けなおします（38 ページの「底面カバーの取り付けなおし」を参照してください）。

4. バッテリを取り付けます（36 ページの「バッテリの着脱」を参照してください）。

5. コンピューターのカバーを上にして置き、外部電源および外付けデバイスをコンピューターに接続しなおします。

6. コンピューターの電源を入れます。

メモリ モジュールの追加または交換

お使いのコンピューターには、1 つのメモリ モジュール コンパートメントが装備されています。コンピューターのメモリ容量を増やすには、空いている拡張メモリ モジュール スロットにメモリ モジュールを追加するか、メイン メモリ モジュール スロットに装着されているメモリ モジュールを交換します。

警告！ 感電や装置の損傷を防ぐため、電源コードとすべてのバッテリを取り外してからメモリ モジュールを取り付けてください。

注意： 静電気（ESD）によって電子部品が損傷することがあります。作業を始める前にアースされた金属面に触るなどして、身体にたまった静電気を放電してください。

注意： 情報の損失やシステムの応答停止を防ぐため、以下の点に注意してください。

メモリ モジュールを追加または交換する前に、コンピューターをシャットダウンしてください。コンピューターの電源が入っているときや、スリープまたはハイバネーション状態のときには、メモリ モジュールを取り外さないでください。

コンピューターの電源が切れているかハイバネーション状態なのかわからない場合は、まず電源ボタンを押してコンピューターの電源を入れます。次にオペレーティング システムの通常の手順でシャットダウンします。

注記： 2 つめのメモリ モジュールを追加してデュアル チャネル構成を使用する場合は、2 つのメモリ モジュールを必ず同一のものにしてください。

注記： メイン メモリは下側のメモリ スロット、拡張メモリは上側のメモリ スロットに装着されています。

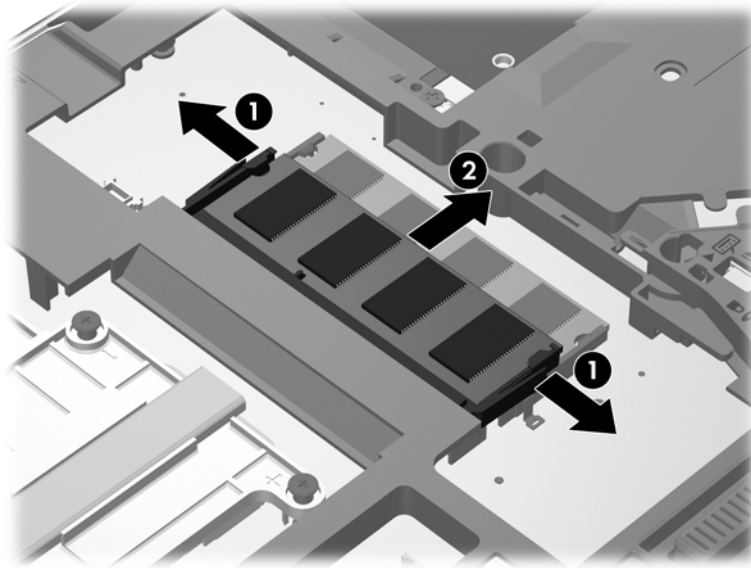
メモリ モジュールを追加または交換するには、以下の操作を行います。

1. 作業中のデータを保存してコンピューターをシャットダウンします。
2. コンピューターに接続されている外部電源および外付けデバイスを取り外します。
3. バッテリを取り外します（36 ページの「バッテリの着脱」を参照してください）。
4. 底面カバーを取り外します（38 ページの「底面カバーの取り外し」を参照してください）。
5. メモリ モジュールを交換する場合は、以下の要領で装着されているメモリ モジュールを取り外します。

   a. メモリ モジュールの両側にある留め具を左右に引っ張ります（**1**）。

      メモリ モジュールが少し上に出てきます。

b. メモリ モジュールの左右の端の部分を持って、そのままゆっくりと斜め上にメモリ モジュールを引き抜いて（**2**）取り外します。

⚠ **注意：** メモリ モジュールの損傷を防ぐため、メモリ モジュールを扱うときは必ず左右の端を持ってください。メモリ モジュールの端子部分には触らないでください。

取り外したメモリ モジュールは、静電気の影響を受けない容器に保管しておきます。

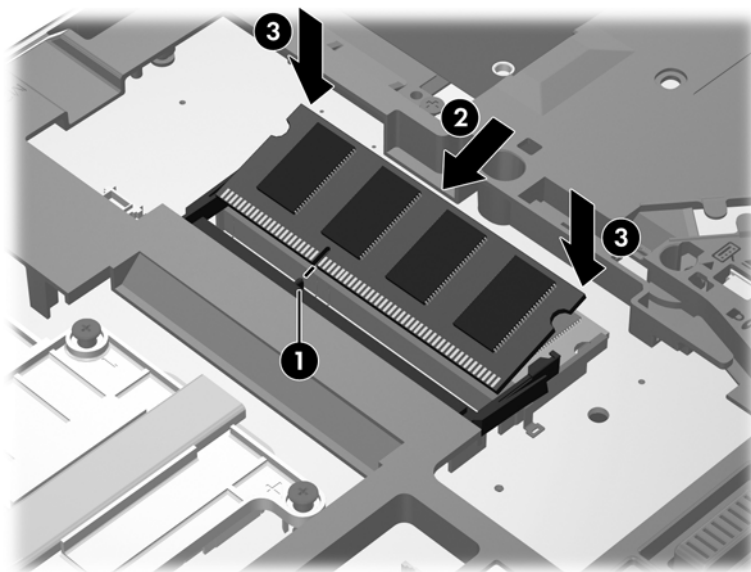
6. 以下の要領で、メモリ モジュールを取り付けます。

⚠ **注意：** メモリ モジュールの損傷を防ぐため、メモリ モジュールを扱うときは必ず左右の端を持ってください。メモリ モジュールの端子部分には触らないでください。

a. メモリ モジュールの切り込みとメモリ モジュール スロット（**1**）を合わせます。

b. しっかりと固定されるまでメモリ モジュールを 45°の角度でスロットに押し込み、所定の位置に収まるまでメモリ モジュールを押し下げます（**2**）。

c. カチッと音がして留め具がメモリ モジュールを固定するまで、メモリ モジュールの左右の端をゆっくりと押し下げます（**3**）。

⚠ **注意：** メモリ モジュールの損傷を防ぐため、メモリ モジュールを折り曲げないでください。

7. 底面カバーを取り付けなおします（38 ページの「底面カバーの取り付けなおし」を参照してください）。

8. バッテリを取り付けます（36 ページの「バッテリの着脱」を参照してください）。

9. 外部電源および外付けデバイスをコンピューターに接続します。

10. コンピューターの電源を入れます。

プログラムおよびドライバーの更新

プログラムおよびドライバーを定期的に最新バージョンへと更新することをおすすめします。最新バージョンをダウンロードするには、http://www.hp.com/support/にアクセスしてください。アップデートが使用可能になったときに自動更新通知を受け取るように登録することもできます。

[HP SoftPaq Download Manager]（HP SoftPaq ダウンロード マネージャー）の使用

[HP SoftPaq Download Manager]（HP SDM）は、SoftPaq 番号がわからない場合でも HP 製ビジネス向けコンピューターの SoftPaq 情報にすばやくアクセスできるツールです。このツールを使用すると、SoftPaq の検索、ダウンロード、および展開を簡単に実行できます。

[HP SoftPaq Download Manager]は、コンピューターのモデルや SoftPaq の情報を含む公開データベース ファイルを、HP の FTP サイトから読み込み、ダウンロードすることによって動作します。[HP SoftPaq Download Manager]を使用すると、1 つ以上のコンピューターのモデルを指定し、利用可能な SoftPaq を調べてダウンロードできます。

[HP SoftPaq Download Manager]は HP の FTP サイトをチェックし、データベースおよびソフトウェアの更新がないかどうかを確認します。更新が見つかると、自動的にその更新がダウンロードされて、適用されます。

[HP SoftPaq Download Manager]は HP の Web サイトから入手できます。[HP SoftPaq Download Manager]を使用して SoftPaq をダウンロードするには、まず、[HP SoftPaq Download Manager]のダウンロードおよびインストールを行う必要があります。HP の Web サイト http://www.hp.com/go/sdm（英語サイト）を表示して、画面の説明に沿って[HP SoftPaq Download Manager]のダウンロードとインストールを行います。

SoftPaq をダウンロードするには、以下の操作を行います。

1. **［スタート］**→**［すべてのプログラム］**→**［HP］**→**［HP SoftPaq Download Manager］**の順に選択します。
2. [HP SoftPaq Download Manager]を初めて起動すると、使用中のコンピューターのソフトウェアのみを表示するか、サポートされているすべてのモデルのソフトウェアを表示するかを尋ねるウィンドウが表示されます。**［Show software for all supported models］**（サポートされているすべてのモデルのソフトウェアを表示する）を選択します。[HP SoftPaq Download Manager]を以前に使用したことがある場合は、手順 3 に進みます。
   a. [Configuration Options]（構成オプション）ウィンドウでオペレーティング システムおよび言語フィルターを選択します。フィルターによって、[Product Catalog]（製品カタログ）パネルに一覧表示されるオプションの数が制限されます。たとえば、オペレーティング システム フィルターで Windows 7 Professional のみを選択すると、[Product Catalog]に表示されるオペレーティング システムは Windows 7 Professional のみになります。
   b. 他のオペレーティング システムを追加するには、[Configuration Options]ウィンドウでフィルター設定を変更します。詳しくは、[HP SoftPaq Download Manager]ソフトウェアのヘルプを参照してください。
3. 左側の枠内で、プラス記号（＋）をクリックしてモデル一覧を展開し、更新する製品のモデルを 1 つまたは複数選択します。
4. **［Find Available SoftPaqs］**（利用可能な SoftPaq の検索）をクリックして、選択したコンピューターで利用可能な SoftPaq の一覧をダウンロードします。

5. SoftPaq の選択内容およびインターネットの接続速度によってはダウンロード処理に時間がかかることがあるため、ダウンロードする SoftPaq の数が多い場合は、利用可能な SoftPaq の一覧から SoftPaq を選択して、[**Download Only**]（ダウンロードのみ）をクリックします。

   ダウンロードする SoftPaq が 1 つまたは 2 つのみで、高速のインターネット接続を使用している場合は、[**Download & Unpack**]（ダウンロードしてパッケージを展開）をクリックします。

6. [HP SoftPaq Download Manager]ソフトウェアで[**Install SoftPaq**]（SoftPaq のインストール）を右クリックすると、選択した SoftPaq がコンピューターにインストールされます。

コンピューターの清掃

- 清掃用の製品
- 清掃手順

清掃用の製品

お使いのノートブック コンピューターまたはタブレット PC を安全に清掃および消毒するには、以下の製品を使用します。

- 濃度が 0.3%までのジメチル ベンジル塩化アンモニウム（使い捨て除菌シートなど。これらのシートはさまざまな商品名で販売されています）
- ノンアルコールのメガネ用液体クリーナー
- 低刺激性の液体石けん
- 乾いたマイクロファイバーのクリーニング クロスまたはセーム皮（油分を含まない、静電気防止布）
- 静電気防止クリーニング シート

注意： 以下の清掃用製品は使用しないでください。

アルコール、アセトン、塩化アンモニウム、塩化メチレン、炭化水素などの強力な溶剤を使用すると、ノートブック コンピューターまたはタブレット PC の表面に修復できない傷が付いてしまう可能性があります。

ペーパー タオルなどの繊維素材を使用すると、ノートブック コンピューターまたはタブレット PC に傷が付く可能性があります。時間がたつにつれて、ほこりの粒子や洗浄剤がその傷の中に入り込んでしまう場合があります。

清掃手順

お使いのノートブック コンピューターまたはタブレット PC を安全に清掃するため、このセクションの手順に沿って作業をしてください。

警告！ 感電やコンポーネントの損傷を防ぐため、電源が入っているときにノートブック コンピューターまたはタブレット PC を清掃しないでください。

ノートブック コンピューターまたはタブレット PC の電源を切ります。

外部電源を取り外します。

電源が供給されていたすべての外付けデバイスを取り外します。

注意： ノートブック コンピューターまたはタブレット PC に洗浄剤などの液体を直接吹きかけないでください。表面から流れ落ちた液体によって、内部のコンポーネントに回復できない損傷を与える可能性があります。

ディスプレイの清掃

ディスプレイは、**ノンアルコール**のメガネ用洗剤で湿らせた柔らかい布でやさしく拭いてください。ディスプレイを閉じる前に、ディスプレイが乾いていることを確認してください。

側面とカバーの清掃

側面とカバーを清掃および消毒するには、上記のどれかの洗浄液で湿らせた、柔らかいマイクロファイバーのクロスまたはセーム皮を使用するか、条件に合った使い捨て除菌シートを使用してください。

注記： ノートブック コンピューターのカバーを清掃する場合は、ごみやほこりを除去するため、円を描くように拭いてください。

タッチパッドとキーボードの清掃

注意： タッチパッドとキーボードを清掃する場合は、キーとキーの間に洗剤などの液体が垂れないようにしてください。これによって、内部のコンポーネントに回復できない損傷を与える可能性があります。

- タッチパッドとキーボードを清掃および消毒するには、上記のどれかの洗浄液で湿らせた、柔らかいマイクロファイバーのクロスまたはセーム皮を使用するか、条件に合った使い捨て除菌シートを使用してください。
- キーが固まらないようにするため、また、キーボードからごみや糸くず、細かいほこりを取り除くには、圧縮空気が入ったストロー付きの缶を使用してください。

  警告！ 感電や内部コンポーネントの損傷を防ぐため、掃除機のアタッチメントを使用してキーボードを清掃しないでください。キーボードの表面に、掃除機からのごみくずが落ちてくることがあります。

7　バックアップおよび復元

Windows 7

- 情報のバックアップ
- システムの復元の実行

情報を保護するには、Windows の[バックアップと復元]を使用して、個々のファイルやフォルダーをバックアップしたり、ハードドライブ全体をバックアップしたり（一部のモデルのみ）、内蔵オプティカル ドライブ（一部のモデルのみ）または別売の外付けオプティカル ドライブでシステム修復ディスクを作成したり（一部のモデルのみ）、システムの復元ポイントを作成したりします。システムに障害が発生した場合は、バックアップ ファイルを使用して、コンピューターの内容を復元できます。

Windows の[バックアップと復元]には、以下のオプションが用意されています。

- 内蔵オプティカル ドライブ（一部のモデルのみ）または別売の外付けオプティカル ドライブを使用したシステム修復ディスクの作成（一部のモデルのみ）
- 情報のバックアップ
- システム イメージの作成（一部のモデルのみ）
- 自動バックアップのスケジュールの設定（一部のモデルのみ）
- システムの復元ポイントの作成
- 個々のファイルの復元
- 以前の状態へのコンピューターの復元
- リカバリ ツールによる情報の復元

注記： 詳しい手順については、[ヘルプとサポート]でこれらの項目を参照してください。

システムが不安定な場合に備え、復元の手順を印刷し、後で利用できるように保管しておくことをおすすめします。

注記： Windows には、コンピューターのセキュリティを高めるためのユーザー アカウント制御機能が含まれています。ソフトウェアのインストール、ユーティリティの実行、Windows の設定変更などを行うときに、ユーザーのアクセス権やパスワードの入力を求められる場合があります。詳しくは、[ヘルプとサポート]を参照してください。

情報のバックアップ

障害が発生した後にシステムの復元を実行すると、最後にバックアップを行ったときの状態に復元されます。ソフトウェアをセットアップしたらすぐに、内蔵オプティカル ドライブ（一部のモデルの

み）または別売の外付けオプティカル ドライブを使用してシステム修復ディスクおよび初期バックアップを作成してください。その後も、新しいソフトウェアやデータ ファイルの追加に応じて定期的にシステムをバックアップし、適切な新しいバックアップを作成しておくようにしてください。システム修復ディスク（一部のモデルのみ）は、システムが不安定になった場合、またはシステムに障害が発生した場合に、コンピューターを起動（ブート）し、オペレーティング システムとソフトウェアを修復するために使用します。システムに障害が発生した場合は、初期バックアップおよびその後のバックアップを使用してデータおよび設定を復元できます。

情報は、別売の外付けハードドライブ、ネットワーク ドライブ、またはディスクにバックアップできます。

バックアップを行う場合は、以下の点を参考にしてください。

- 個人用ファイルをドキュメント ライブラリに保存して、定期的にバックアップします。
- 関連付けられたプログラムに保存されているテンプレートをバックアップします。
- カスタマイズされているウィンドウ、ツールバー、またはメニュー バーの設定のスクリーンショットを撮って保存します。設定をリセットする必要がある場合、画面のコピーを保存しておくと時間を節約できます。
- ディスクにバックアップする場合は、以下の種類の別売のディスクを使用できます : CD-R、CD-RW、DVD+R、DVD+R（2 層記録（DL）対応）、DVD-R、DVD-R（2 層記録（DL）対応）、および DVD±RW。使用できるディスクの種類は、お使いのコンピューターに取り付けられているオプティカル ドライブまたは外付けのオプティカル ドライブの種類によって異なります。

  注記： DVD および 2 層記録（DL）対応 DVD を使用すると、CD より保存できる情報量が増えるため、バックアップに必要なリカバリ ディスクの数が少なくなります。

- ディスクにバックアップする場合は、各ディスクに番号を付けてからコンピューターのオプティカル ドライブに挿入します。

[バックアップと復元]を使用してバックアップを作成するには、以下の操作を行います。:

注記： お使いのコンピューターが外部電源に接続されていることを確認してから、バックアップ処理を開始してください。

注記： ファイルのサイズやコンピューターの処理速度によっては、バックアップ処理に 1 時間以上かかることがあります。

1. **[スタート]**→**[すべてのプログラム]**→**[メンテナンス]**→**[バックアップと復元]**の順に選択します。
2. 画面に表示される説明に沿って、バックアップをセットアップするか、システム イメージ（一部のモデルのみ）を作成するか、またはシステム修復ディスク（一部のモデルのみ）を作成します。

システムの復元の実行

お使いのコンピューターには、システムの障害やシステムが不安定な場合に備え、ファイルを復元する以下のツールが用意されています。

- Windows リカバリ ツール：Windows の[バックアップと復元]を使用して、以前バックアップを行った情報を復元できます。また、Windows の[スタートアップ修復]を使用して、Windows が正常に起動できなくなる可能性のある問題を修復できます。
- f11 リカバリ ツール：f11 リカバリ ツールを使用して、初期状態のハードドライブのイメージを復元できます。このイメージには、工場出荷時にインストールされていた Windows オペレーティング システムおよびソフトウェア プログラムが含まれます。

注記： コンピューターを起動できず、以前に作成したシステム修復ディスク（一部のモデルのみ）を使用できない場合は、Windows 7 オペレーティング システムの DVD を購入してコンピューターを再起動し、オペレーティング システムを修復する必要があります。詳しくは、56 ページの「別売の Windows 7 オペレーティング システムの DVD を使用した情報の復元 」を参照してください。

Windows リカバリ ツールの使用

以前バックアップした情報を復元するには、以下の操作を行います。

1. **[スタート]**→**[すべてのプログラム]**→**[メンテナンス]**→**[バックアップと復元]**の順に選択します。
2. 画面に表示される説明に沿って、システム設定、コンピューター全体（一部のモデルのみ）、またはファイルを復元します。

[スタートアップ修復]を使用して情報を復元するには、以下の操作を行います。

注意： [スタートアップ修復]を使用した場合、ハードドライブの内容が完全に消去され、ハードドライブが再フォーマットされます。コンピューター上に作成したすべてのファイルおよびインストールしたすべてのソフトウェアが完全に削除されます。再フォーマットが完了すると、復元に使用されるバックアップから、オペレーティング システム、ドライバー、ソフトウェア、ユーティリティが復元されます。

1. 可能であれば、すべての個人用ファイルをバックアップします。
2. 可能であれば、Windows のパーティションと HP 復元用パーティションがあることを確認します。

   Windows パーティションがあることを確認するには、**[スタート]**→**[コンピューター]**の順に選択します。

   HP 復元用パーティションの有無を確認するには、**[スタート]**をクリックし、**[コンピューター]**を右クリックして**[管理]**→**[ディスクの管理]**の順にクリックします。

   注記： Windows パーティションと HP 復元用パーティションが一覧に表示されない場合は、Windows 7 オペレーティング システムの DVD および『Driver Recovery』（ドライバー リカバリ）ディスク（両方とも別売）を使用して、オペレーティング システムおよびプログラムを復元する必要があります。詳しくは、56 ページの「別売の Windows 7 オペレーティング システムの DVD を使用した情報の復元 」を参照してください。

3. Windows パーティションと HP 復元用パーティションが一覧に表示される場合は、コンピューターを再起動してから、Windows オペレーティング システムがロードされる前に f8 キーを押します。

4. [**スタートアップ修復**]を選択します。

5. 画面に表示される説明に沿って操作します。

注記： Windows ツールを使用した情報の復元について詳しくは、[ヘルプとサポート]でこれらの項目を参照してください。

f11 リカバリ ツールの使用

注意： f11 を使用した場合、ハードドライブの内容が完全に消去され、ハードドライブが再フォーマットされます。コンピューター上に作成したすべてのファイルおよびインストールしたすべてのソフトウェアが完全に削除されます。f11 キーのリカバリ ツールを使用すると、工場出荷時にインストールされていたオペレーティング システム、HP プログラム、およびドライバーが再インストールされます。工場出荷時にインストールされていなかったソフトウェアは、再インストールする必要があります。

f11 を使用して初期状態のハードドライブのイメージを復元するには、以下の操作を行います。

1. 可能であれば、すべての個人用ファイルをバックアップします。

2. 可能であれば、HP 復元用パーティションがあることを確認します。[**スタート**]をクリックし、[**コンピューター**]を右クリックして[**管理**]→[**ディスクの管理**]の順にクリックします。

   注記： HP 復元用パーティションが一覧に表示されない場合は、Windows 7 オペレーティング システムの DVD および『Driver Recovery』（ドライバー リカバリ）ディスク（両方とも別売）を使用して、オペレーティング システムおよびプログラムを復元する必要があります。詳しくは、56 ページの「別売の Windows 7 オペレーティング システムの DVD を使用した情報の復元 」を参照してください。

3. HP 復元用パーティションが一覧に表示される場合は、コンピューターを再起動してから、画面の下に[Press the ESC key for Startup Menu]というメッセージが表示されている間に esc キーを押します。

4. [Press <F11> for recovery]というメッセージが表示されている間に、f11 キーを押します。

5. 画面に表示される説明に沿って操作します。

別売の Windows 7 オペレーティング システムの DVD を使用した情報の復元

Windows 7 オペレーティング システムの DVD を購入するには、http://www.hp.com/jp/にアクセスしてお使いのコンピューターについての情報を確認してください。また、電話でお問い合わせになる場合は、製品に付属している『サービスおよびサポートを受けるには』を参照してください。日本以外の国や地域については、製品に付属している冊子『Worldwide Telephone Numbers』（英語版）を参照してください。

注意： Windows 7 オペレーティング システムの DVD を使用した場合、ハードドライブの内容が完全に消去され、ハードドライブが再フォーマットされます。コンピューター上に作成したすべてのファイルおよびインストールしたすべてのソフトウェアが完全に削除されます。再フォーマットが完了すると、オペレーシング システム、ドライバー、ソフトウェア、ユーティリティが復元されます。

Windows 7 オペレーティング システムの DVD を使用して復元を開始するには、以下の操作を行います。

注記： この処理には数分かかる場合があります。

1. 可能であれば、すべての個人用ファイルをバックアップします。
2. コンピューターを再起動した後、Windows オペレーティング システムがロードされる前に、Windows 7 オペレーティング システムの DVD をオプティカル ドライブに挿入します。
3. 指示が表示されたら、任意のキーボード キーを押します。
4. 画面に表示される説明に沿って操作します。
5. **[次へ]**をクリックします。
6. **[コンピューターを修復する]**を選択します。
7. 画面に表示される説明に沿って操作します。

Windows Vista

情報を保護するには、[バックアップと復元センター]を使用して、 個々のファイルやフォルダーをバックアップしたり、ハードドライブ全体をバックアップしたり（一部のモデルのみ）、システムの復元ポイントを作成したりします。システムに障害が発生した場合は、バックアップ ファイルを使用して、コンピューターの内容を復元できます。

[バックアップと復元センター]には、以下のオプションが用意されています。

- 個々のファイルやフォルダーのバックアップ
- ハードドライブ全体のバックアップ（一部のモデルのみ）
- 自動バックアップのスケジュールの設定（一部のモデルのみ）
- システムの復元ポイントの作成
- 個々のファイルの復元
- 以前の状態へのコンピューターの復元
- リカバリ ツールによる情報の復元

注記： 詳しい手順については、[ヘルプとサポート]でこれらの項目を参照してください。

注記： システムが不安定な場合に備え、復元の手順を印刷し、後で利用できるように保管しておくことをおすすめします。

注記： Windows には、コンピューターのセキュリティを高めるためのユーザー アカウント制御機能が含まれています。ソフトウェアのインストール、ユーティリティの実行、Windows の設定変更などを行うときに、ユーザーのアクセス権やパスワードの入力を求められる場合があります。詳しくは、[ヘルプとサポート]を参照してください。

情報のバックアップ

障害が発生した後にシステムの復元を実行すると、最後にバックアップを行ったときの状態に復元されます。ソフトウェアのセットアップが終了したら、すぐに初期バックアップを作成してください。その後も、新しいソフトウェアやデータ ファイルの追加に応じて定期的にシステムをバックアップし、適切な新しいバックアップを作成しておくようにしてください。

情報は、別売の外付けハードドライブ、ネットワーク ドライブ、またはディスクにバックアップできます。

バックアップを行う場合は、以下の点を参考にしてください。

- 個人用ファイルを[ドキュメント]フォルダーに保存して、定期的にバックアップします。
- 関連付けられたプログラムに保存されているテンプレートをバックアップします。
- カスタマイズされているウィンドウ、ツールバー、またはメニュー バーの設定のスクリーンショットを撮って保存します。設定をリセットする必要がある場合、画面のコピーを保存しておくと時間を節約できます。
- ディスクにバックアップする場合は、以下の種類の別売のディスクを使用できます：CD-R、CD-RW、DVD+R、DVD+R（2 層記録（DL）対応）、DVD-R、DVD-R（2 層記録（DL）対応）、および DVD±RW。使用できるディスクの種類は、お使いのコンピューターに取り付けられているオプティカル ドライブの種類によって異なります。

  注記： DVD および 2 層記録（DL）対応 DVD を使用すると、CD より保存できる情報量が増えるため、バックアップに必要なリカバリ ディスクの数が少なくなります。

- ディスクにバックアップする場合は、各ディスクに番号を付けてからコンピューターのオプティカル ドライブに挿入します。

[バックアップと復元センター]を使用してバックアップを作成するには、以下の操作を行います。：

注記： お使いのコンピューターが外部電源に接続されていることを確認してから、バックアップ処理を開始してください。

注記： ファイルのサイズやコンピューターの処理速度によっては、バックアップ処理に 1 時間以上かかることがあります。

1. **[スタート]**→**[すべてのプログラム]**→**[メンテナンス]**→**[バックアップと復元センター]**の順に選択します。
2. 画面に表示される説明に沿って、コンピューター全体（一部のモデルのみ）またはファイルをバックアップします。

復元の実行

お使いのコンピューターには、システムの障害やシステムが不安定な場合に備え、ファイルを復元する以下のツールが用意されています。

- Windows リカバリ ツール：[バックアップと復元センター]を使用して、以前バックアップを行った情報を復元できます。また、Windows の[スタートアップ修復]を使用して、Windows が正常に起動できなくなる可能性のある問題を修復できます。
- f11 リカバリ ツール：f11 リカバリ ツールを使用して、初期状態のハードドライブのイメージを復元できます。このイメージには、工場出荷時にインストールされていた Windows オペレーティング システムおよびソフトウェア プログラムが含まれます。

注記： コンピューターを起動できない場合は、Windows Vista オペレーティング システムの DVD を購入してコンピューターを再起動し、オペレーティング システムを修復する必要があります。詳しくは、61 ページの「別売の Windows Vista オペレーティング システムの DVD を使用した情報の復元 」を参照してください。

Windows リカバリ ツールの使用

以前バックアップした情報を復元するには、以下の操作を行います。

1. **[スタート]**→**[すべてのプログラム]**→**[メンテナンス]**→**[バックアップと復元センター]**の順に選択します。
2. 画面に表示される説明に沿って、コンピューター全体（一部のモデルのみ）またはファイルを復元します。

[スタートアップ修復]を使用して情報を復元するには、以下の操作を行います。

注意： [スタートアップ修復]を使用した場合、ハードドライブの内容が完全に消去され、ハードドライブが再フォーマットされます。コンピューター上に作成したすべてのファイルおよびインストールしたすべてのソフトウェアが完全に削除されます。再フォーマットが完了すると、復元に使用されるバックアップから、オペレーティング システム、ドライバー、ソフトウェア、ユーティリティが復元されます。

1. 可能であれば、すべての個人用ファイルをバックアップします。
2. 可能であれば、Windows のパーティションと HP 復元用パーティションがあることを確認します。HP 復元用パーティションを確認するには、**[スタート]**→**[コンピューター]**の順に選択します。

   注記： Windows のパーティションと HP 復元用パーティションが削除されている場合は、Windows Vista オペレーティング システムの DVD および『Driver Recovery』（ドライバー リカバリ）ディスク（両方とも別売）を使用して、オペレーティング システムおよびプログラムを復元する必要があります。詳しくは、61 ページの「別売の Windows Vista オペレーティング システムの DVD を使用した情報の復元 」を参照してください。

3. コンピューターを再起動した後、Windows オペレーティング システムがロードされる前に f8 キーを押します。
4. **[コンピューターを修復する]**を選択します。
5. 画面に表示される説明に沿って操作します。

注記： Windows ツールを使用した情報の復元について詳しくは、[ヘルプとサポート]でこれらの項目を参照してください。

f11 リカバリ ツールの使用

注意： f11 を使用した場合、ハードドライブの内容が完全に消去され、ハードドライブが再フォーマットされます。コンピューター上に作成したすべてのファイルおよびインストールしたすべてのソフトウェアが完全に削除されます。f11 キーのリカバリ ツールを使用すると、工場出荷時にインストールされていたオペレーティング システム、HP プログラム、およびドライバーが再インストールされます。工場出荷時にインストールされていなかったソフトウェアは、再インストールする必要があります。個人用ファイルはバックアップから復元する必要があります。

注記： お使いのコンピューターに SSD（Solid State Drive）が搭載されている場合、復元用パーティションがない可能性があります。復元用パーティションがないコンピューターには、リカバリ ディスクが付属しています。オペレーティング システムおよびソフトウェアを復元するには、これらのディスクを使用します。復元用パーティションの有無を確認するには、**[スタート]**→**[コンピューター]**の順に選択します。復元用パーティションがある場合、ウィンドウの[ハード ディスク ドライブ]セクションに[HP_Recovery]などの復元用ドライブが表示されます。

f11 を使用して初期状態のハードドライブのイメージを復元するには、以下の操作を行います。

1. 可能であれば、すべての個人用ファイルをバックアップします。
2. 可能であれば、HP 復元用パーティションがあることを確認します。HP 復元用パーティションを確認するには、**[スタート]**→**[コンピューター]**の順に選択します。

注記： HP 復元用パーティションが削除されている場合は、Windows Vista オペレーティング システムの DVD および『Driver Recovery』（ドライバー リカバリ）ディスク（両方とも別売）を使用して、オペレーティング システムおよびプログラムを復元する必要があります。詳しくは、61 ページの「別売の Windows Vista オペレーティング システムの DVD を使用した情報の復元 」を参照してください。

3. コンピューターを起動または再起動し、画面の左下隅に[Press the ESC key for Startup Menu]というメッセージが表示されている間に esc キーを押します。
4. [Press <F11> for recovery]というメッセージが表示されている間に、f11 キーを押します。
5. 画面に表示される説明に沿って操作します。

別売の Windows Vista オペレーティング システムの DVD を使用した情報の復元

Windows Vista オペレーティング システムの DVD を購入するには、http://www.hp.com/jp/にアクセスしてお使いのコンピューターについての情報を確認してください。また、電話でお問い合わせになる場合は、製品に付属している『サービスおよびサポートを受けるには』を参照してください。日本以外の国や地域については、製品に付属している冊子『Worldwide Telephone Numbers』（英語版）を参照してください。

注意： Windows Vista オペレーティング システムの DVD を使用した場合、ハードドライブの内容が完全に消去され、ハードドライブが再フォーマットされます。コンピューター上に作成したすべてのファイルおよびインストールしたすべてのソフトウェアが完全に削除されます。再フォーマットが完了すると、オペレーシング システム、ドライバー、ソフトウェア、ユーティリティが復元されます。

Windows Vista オペレーティング システムの DVD を使用して復元を開始するには、以下の操作を行います。

注記： この処理には数分かかる場合があります。

1. 可能であれば、すべての個人用ファイルをバックアップします。
2. コンピューターを再起動した後、Windows オペレーティング システムがロードされる前に、Windows Vista オペレーティング システムの DVD をオプティカル ドライブに挿入します。
3. 指示が表示されたら、任意のキーボード キーを押します。
4. 画面に表示される説明に沿って操作します。
5. **[次へ]**をクリックします。
6. **[コンピューターを修復する]**を選択します。
7. 画面に表示される説明に沿って操作します。

8　サポート窓口

サポート窓口へのお問い合わせ

このユーザー ガイド、『HP ノートブック コンピューター リファレンス ガイド』、または[ヘルプとサポート]で提供されている情報で問題に対処できない場合は、以下の HP サポート窓口または『サービスおよびサポートを受けるには』に記載されているサポート窓口にお問い合わせください。

http://welcome.hp.com/country/jp/ja/contact_us.html

注記： 日本以外の国や地域でのサポートについては、http://welcome.hp.com/country/us/en/wwcontact_us.html（英語サイト）から該当する国や地域、または言語を選択してください。

ここでは、以下のことを行うことがきます。

- HP のサービス担当者とオンラインでチャットする。

  注記： 特定の言語でサポート窓口とのチャットを利用できない場合は、英語でご利用ください。

- HP のサポート窓口に電子メールで問い合わせる。
- 各国の HP のサポート窓口の電話番号を調べる。
- HP のサービス センターを探す。

ラベル

コンピューターに貼付されているラベルには、システムの問題を解決したり、コンピューターを日本国外で使用したりするときに必要な情報が記載されています。

- シリアル番号ラベル：以下の情報を含む重要な情報が記載されています。

名称	
(1)	製品名
(2)	シリアル番号（s/n）
(3)	製品番号（p/n）
(4)	保証期間
(5)	モデルの説明

これらの情報は、サポート窓口にお問い合わせになるときに必要です。シリアル番号ラベルは、コンピューターの裏面に貼付されています。

- Microsoft Certificate of Authenticity：Windows のプロダクト キー（Product Key、Product ID）が記載されています。プロダクト キーは、オペレーティング システムのアップデートやトラブルシューティングのときに必要になる場合があります。Microsoft Certificate of Authenticity は、バッテリ ベイの中に貼付されています。
- 規定ラベル：コンピューターの規定に関する情報が記載されています。規定ラベルは、コンピューターの底面カバーの裏、またはバッテリ ベイ内に貼付されています。
- 無線認定/認証ラベル（一部のモデルのみ）：オプションの無線デバイスに関する情報と、認定各国または各地域の一部の認定マークが記載されています。1 つ以上の無線デバイスを使用している機種には、1 つ以上の認定ラベルが貼付されています。日本国外でモデムを使用するときに、この情報が必要になる場合があります。無線認定/認証ラベルは、コンピューターの底面カバー上またはバッテリ ベイ内に貼付されています。
- SIM（Subscriber Identity Module）ラベル（一部のモデルのみ）：SIM の ICCID（Integrated Circuit Card Identifier）が記載されています。このラベルは、バッテリ ベイ内に貼付されています。
- HP モバイル ブロードバンド モジュール シリアル番号ラベル（一部のモデルのみ）：HP モバイル ブロードバンド モジュールのシリアル番号が記載されています。このラベルは、コンピューターの底面カバーの裏、またはバッテリ ベイ内に貼付されています。

9 仕様

入力電源

ここで説明する電源の情報は、お使いのコンピューターを国外で使用する場合に役立ちます。

コンピューターは、AC 電源または DC 電源から供給される DC 電力で動作します。AC 電源は 100～240 V（50/60 Hz）の定格に適合している必要があります。コンピューターは単独の DC 電源で動作しますが、コンピューターの電力供給には、このコンピューター用に HP から提供および認可されている AC アダプターまたは DC 電源のみを使用する必要があります。

お使いのコンピューターは、以下の仕様の DC 電力で動作できます。

入力電源	定格
動作電圧と電流	18.5 V DC（3.5 A、65 W の場合） または 19 V DC（4.74 A、90 W の場合）

注記： この製品は、最低充電量 240 V rms 以下の相対電圧によるノルウェーの IT 電源システム用に設計されています。

注記： コンピューターの動作電圧および動作電流は、システムの規定ラベルに記載されています。

動作環境

項目	メートル	U.S.
温度		
動作時（オプティカル ディスク書き込み中）	**5～35°C**	41～95°F
非動作時	**-20～60°C**	-4～140°F
相対湿度（結露しないこと）		
動作時	**10～90%**	10～90%
非動作時	**5～95%**	5～95%
最大標高（非与圧）		
動作時	**-15～3,048 m**	-50～10,000 フィート
非動作時	**-15～12,192 m**	-50～40,000 フィート

索引